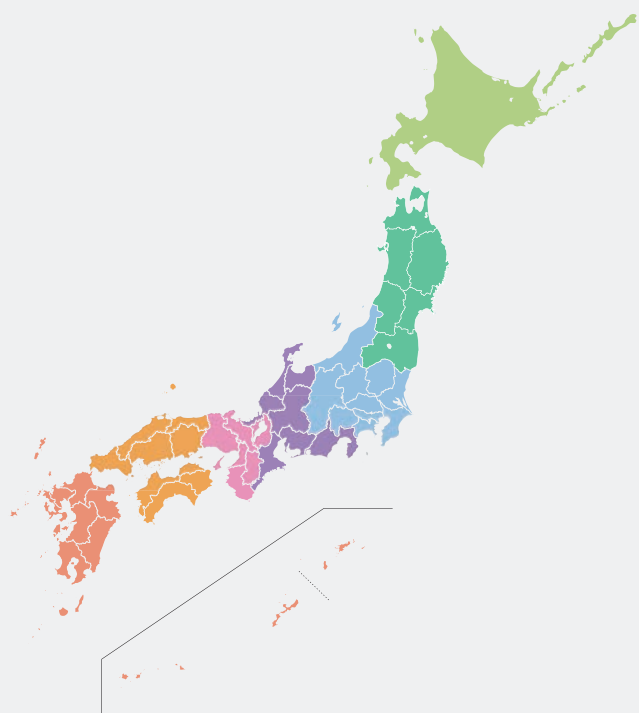


組織概要 採用試験 機関紹介

こちらからご覧ください！



北海道地区(採用試験事務局)
TEL 011-706-2019
<https://univ-staff.hokkaido.jp/>

東北地区(採用試験事務局)

TEL 022-217-5676
<https://shiken.bureau.tohoku.ac.jp/>

関東甲信越地区(採用試験事務局)

TEL 03-5841-2769
<http://ssj.adm.u-tokyo.ac.jp/>

東海・北陸地区(採用試験事務局)

TEL 052-788-6053
<http://www.sssj.jimu.nagoya-u.ac.jp/>

近畿地区(採用試験事務局)

TEL 075-753-2230
<https://kinki-ssj.adm.kyoto-u.ac.jp/>

中国・四国地区(採用試験事務局)

TEL 082-424-5616
<https://jinji.hiroshima-u.ac.jp/shiken/>

九州地区(採用試験事務局)

TEL 092-802-2340
<https://www.shiken.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

令和8年度から国立大学法人等統一採用試験は、
より受験しやすい形に変わります！

詳細はコチラから
ご確認ください



SNSも充実！ぜひ、ご利用ください。



@shiken_bureau



@user-wd8dd1vh5e



tohoku_shiken

最新の情報は
ホームページで



<https://shiken.bureau.tohoku.ac.jp/>



このパンフレットは環境に
配慮した「水なし印刷」により
印刷しております。



環境にやさしい植物油インキ
「VEGETABLE OIL INK」で
印刷しております。

正解のない“シゴト”

Tohoku Shine

東北地区国立大学法人等 仕事紹介

GUIDE BOOK 2026

わたしが輝く“ミライ”

Tohoku Shine

あなたの輝きで、東北を照らそう

私たちは「正解のない仕事」に挑戦する――

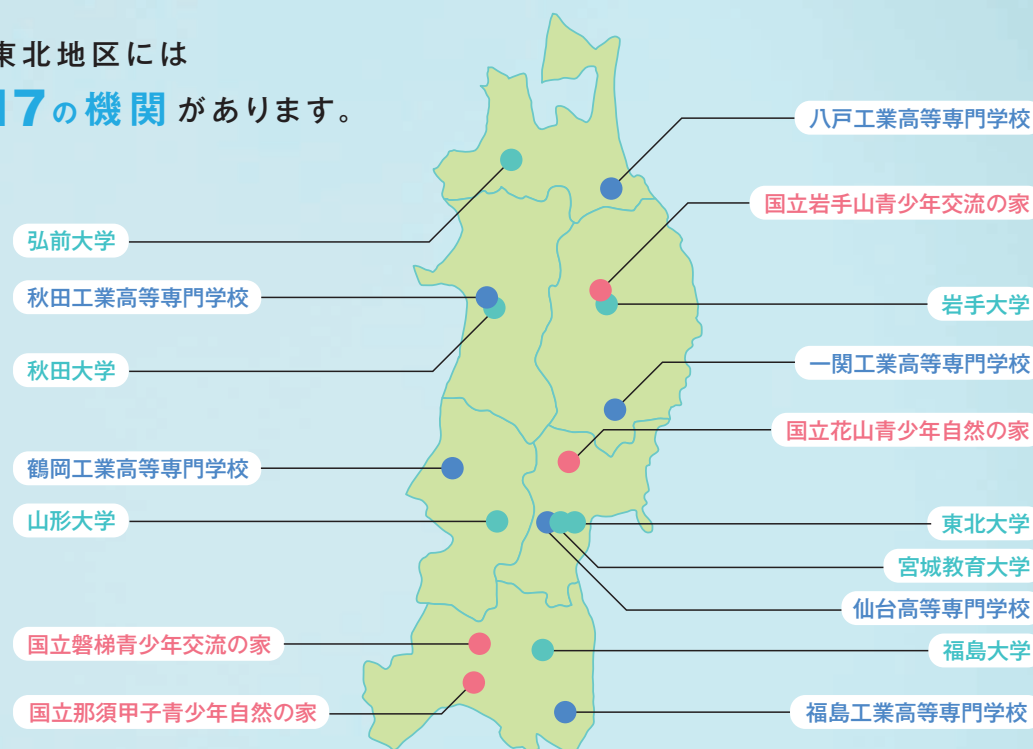
自ら考え、行動することで、一人ひとりが輝き、やがて一つの大きな光となって、地域や未来を照らしていく。

より良い社会の実現に向けて、あなたの輝きとともに、東北の明日を創ろう。

Message

「国立大学法人等」は、教育や研究の場であるとともに、これからの時代のいろいろな社会課題を解決していくという役割が期待されています。国立大学法人等職員として、アカデミアの場で課題解決を行い、新たな東北の未来を一緒につくっていきませんか。

東北地区には
17の機関があります。



令和8年度から国立大学法人等統一採用試験は、
より受験しやすい形に変わります！

詳細はコチラから
ご確認ください



contents

P03	業務内容
P05	先輩職員の声(事務系)
P13	先輩職員の声(技術系)
P15	マイキャリア(事務系)
P17	マイキャリア(技術系)
P19	研修制度

P21	ワーク・ライフ・バランス
P23	勤務条件・福利厚生
P25	若手職員アンケート
P29	特集(各機関の取り組み)
P31	機関紹介
P35	採用試験について
P37	組織概要

総務

●試験区分:事務

→ P.05

組織を円滑に運営し、そこで働く職員を支えるため、幅広い業務を行います。

- 事務の総括および連絡調整
- 広報活動の企画・立案・実施および広報刊行物の編集・発行
- 職員の採用、退職、異動等の人事管理
- 職員の給与および諸手当の決定 など

国際交流

●試験区分:事務

→ P.07

海外の大学・研究機関との学術交流事業や留学生の受入・支援など、グローバルな学術交流の拠点として国際化戦略業務を行います。

- 海外の大学・研究機関との学術交流
- 外国人研究員の受入、教職員の海外派遣
- 学生の海外留学派遣
- 外国人留学生の受入、就学支援および生活支援 など

教務・学生

●試験区分:事務

→ P.09

学生の入学から卒業までの学業及び生活面をサポートする業務を行います。

- 入学、留学、卒業等の学籍管理
- 入学試験の実施および広報活動
- 生活指導および課外活動等の支援
- 就職活動の指導・相談および就活情報の収集・提供 など

研究協力

●試験区分:事務

→ P.06

研究推進と社会貢献のために、研究戦略の企画や立案、競争的研究費の獲得支援、産学連携推進、知的財産等の管理運用等に関する業務を行います。

- 研究戦略・研究推進に関する企画、立案、調査
- 科学研究費助成事業、その他競争的資金の獲得支援
- 知的財産の管理
- 寄附講座、寄附研究部門の設置・運営 など

財務

●試験区分:事務

→ P.08

各種法令や各機関の規程等に基づき、大学等の財務に関する業務を行います。

- 予算の立案、要求、配分、管理
- 運営費交付金・授業料・入学料等の収入の管理
- 職員の給与・出張旅費等の支出の管理
- 土地、建物、構造物および物品等固定資産の管理
- 物品および役務の調達 など

情報推進

●試験区分:事務

→ P.10

ICTを使った情報処理・情報伝達の仕組みを整備・運用することで、組織の業務全般を円滑化させる業務を行います。

- 情報基盤の整備、運用、維持管理
- 情報化推進に関する調査、企画、立案および連絡調整
- 学内システムの構築、計画、維持管理 など

病院事務

●試験区分:事務

→ P.11

臨床教育、医学研究および先端医療を担っている大学病院において、医療の現場がスムーズに業務を進められるように事務的な面でサポートします。

- 外来患者の受入、入院退院の手続き
- 診療・入院費用の計算、収納
- 病院経営に関する情報収集および分析
- 医療情報管理システムの管理・運営 など

施設系技術

●試験区分:電気、機械、土木、建築

→ P.13

大学等のあらゆる施設について、キャンパス全体に渡る計画から、個々の建物のプランニング、施工監理、維持保全までと建設プロセスの全てをマネジメントします。

- 施設の整備企画、調査
- 施設等の工事計画、設計、積算、施工監理および検査
- 建物、電気、水道、ガス設備および外構等の維持管理
- 施設の安全対策・安全教育・環境保全・省エネルギー対策 など



図書

●試験区分:図書

→ P.12

附属図書館において、利用者に対して様々なサービスを提供します。近年の図書館業務としてはコンピュータネットワークを介した学術情報の提供という側面が強くなっています。

- 図書館資料の選定、発注、契約、受入、整理
- 電子ジャーナル・データベースの契約、管理
- 図書館資料の貸出、返却、配架、保管、蔵書点検
- 他機関との相互利用（文献複写、図書現物貸借）に関する業務 など

教育・研究支援系技術

●試験区分:電気、機械、土木、建築、化学、物理、電子・情報、資源工学、農学、林学、生物・生命科学

→ P.14

大学等の研究施設において、それぞれの専門知識を活かし、技術面から教育・研究をサポートします。多種多様な研究活動に応じて、業務は専門的かつ多彩なものとなります。

- 機械・機器・装置等の設計、製作、運用、整備
- 機械操作方法等の技術指導、安全作業指導
- 公開講座・出前講座等の地域貢献活動
- 適切な作業環境の保持 など

総務

人との関わりの中で 新たな学びに出会える職場

MESSAGE

大学には色々な部署があるので、様々な業務に携わることができるという点が魅力だと思います。みなさんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



令和5年
4月採用



秋田大学
教育文化学部事務部 総務担当
佐藤 大輝
Sato Daiki

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

就活を始めた当初、地元で貢献したいという思いを持っていたため、地元の市役所などの公務員を目指していました。しかし、国立大学法人等職員の説明会に参加した際に、大学であれば教育や研究、地域連携や国際交流など様々な点に携わることができるという話を聞き、大学職員に興味を持ちました。

現在の業務内容について教えてください。

総務の中でも主に文書・広報を担当しています。学内・学外からの通知や依頼、調査を関係する教職員や部署と連携して、処理しています。また、学部の委員会のうち、広報と国際交流に関する二つの委員会の事務を担当しています。その他、オープンキャンパスの運営や学部パンフレットの作成なども行っています。

職場の雰囲気について教えてください。

とても和やかで相談しやすい職場です。私の席には電話が多くなってくるので、採用当初は電話が鳴るたびに緊張していたのですが、周りの方々に助けてもらいました。現在も仕事を進めていく中で行き詰まることありますが、経験豊富な上司に相談すると、解決するための手助けをしてくれます。

仕事をしていて楽しい!うれしい!と思う瞬間は何ですか？

オープンキャンパスや学部パンフレットなど、準備・制作に時間がかかった業務を終えたときには、大きな達成感を感じます。また、一年目はうまく進めることができなかった業務も二年目になり、反省点を生かして効率的に進めることができた時は、自分の成長を感じてとてもうれしく思います。

私の1日

TIME SCHEDULE

8:30

メールチェック

メールは何通も届くので朝だけでなく、一日に何回も確認します。漏れがないように一つ一つ丁寧に確認します。

10:30

委員会への参加

委員会の開催日までに資料の作成や委員長との打ち合わせを行います。委員会後は議事要旨を作成します。

13:00

各種依頼・調査の対応

学内・学外から依頼や調査があるので、関係する教職員や部署と連携を取りながら、適切に遅れないよう計画を立てて対応しています。

15:00

文書処理

秋田大学教育文化学部には附属学校があるため、附属学校関係の通知が多いです。通知を適切に素早く処理することを心がけています。

研究協力

大学と地域をつなげ、 そのつながりをサポートする

MESSAGE

大学では学内だけでなく、外部の方と関わる学外での仕事もたくさんあり、様々な経験をする事ができます。皆さんと一緒にスキルアップできることを楽しみにしています。



令和5年
4月採用



福島大学
研究・地域連携課 社会連携係
青柳 智大
Aoyagi Tomohiro

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

高校生の頃から災害復興に関心があり、福島大学で震災復興について学びました。その経験をいかし、福島で人の役に立つ仕事がしたいと考えたことがきっかけです。災害復興を学ぶことできた福島大学で災害復興をする一員として仕事をしたいと考え、福島大学職員を志望しました。

現在の業務内容について教えてください。

大学と地域を結びつけるイベントの開催を主に担当しています。夏休み期間に開催するイベントや、一年を通して行う事業など、期間や規模は様々で、滞りなくイベントを行うために打ち合わせやチラシの作成、準備物の用意などをスケジュールを組んで進めていきます。

働く前とのギャップや働く中で気づいたこと。

大学で働く前は、大学職員は大学の中で完結する仕事がメインで、大学外の仕事は主要な仕事ではないと考えておりました。しかし、現在所属している研究・地域連携課では学外との仕事が多々を占め、地域と大学のつながりの重要性がわかりました。

仕事をしていて楽しい!うれしい!と思う瞬間は何ですか？

事前に進めた準備をもとに、イベントを開催する時がとても楽しく、わくわくします。予定通りにイベントを終え、参加された方から「楽しかった!」や「ありがとう!」とお礼や感想をいただいた瞬間が最もやりがいを感じます。

私の1日

TIME SCHEDULE

8:30

メールの確認

9:00

イベント開催の準備

11:00

午後の会議の準備

14:00

会議





国際交流

大学から世界へ、 夢を叶える留学支援

MESSAGE

学生の「留学」という夢をサポートする中で、自分も日々刺激を受けています。大学は、さまざまな人と出会い、絶えず成長できる魅力的な場所だと感じています。



令和5年
1月採用

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

一番の魅力は、様々な部署で経験を積めることです。国立大学法人では約2～3年ごとに異動があるため、一つの組織に在籍しながら多様な業務に関わることができます。異なる部署で、新たな視点やスキルを身につけ、事務職員として長期的に成長し続けたいと感じ、志望しました。

現在の業務内容について教えてください。

主な業務は、学生の海外留学支援です。海外の大学への留学を希望する学生に、相談や手続きなどのサポートをしています。また、学生が海外留学や国際交流に親しみを持てるよう、イベント企画やSNSでの情報発信も行っています。ルーティン業務に加え、臨機応変な対応力が求められる場面も多く、難しさを感じることもありますが、その分やりがいも大きいです。

働く前とのギャップや働く中で気づいたこと。

働く前は、学生対応や入試業務といった業務のイメージが強くありましたが、実際に働いてみると、病院事務、地域連携、広報など、さまざまな業務があることがわかりました。学生ではなく教員や外部の方と接する機会が多いところもあり、部署によって雰囲気も大きく異なります。私が所属する国際連携本部は学生対応がメインのため、毎日非常に賑やかです。

仕事をしていて楽しい!!うれしい!!と思う瞬間は何ですか？

学生が留学から戻り、キラキラした瞳で報告に来てくれる時が、一番の喜びです。留学先での新しい出会いや心に残る出来事、現地の美味しい食事、美しい風景、その時々感じた思いなどを楽しそうに話す姿を見ると、達成感を感じます。同時に、もっと多くの学生にこの経験を届けたいという気持ちが湧き、仕事のモチベーションになっています。

弘前大学
国際連携本部 国際推進部門

大友 茉那
Otomo Mana

私の1日

TIME SCHEDULE

8:30

メールチェック
業務内容確認

朝出勤したら、メールをチェックし、部内スケジュールでその日の業務を確認します。

10:00

会議、打ち合わせ等

会議等は午前中に行われることが多いです。週1で部内ミーティングがあります。

13:00

留学相談

主な相談内容は留学制度の説明や留学先の検討について、多いときは1日に5人くらい来るときも。

16:00

学生との打合せ

留学や国際交流を促進するための学生チームのメンバーと打合せします。活動の状況や今後の予定について話すことが多いです。



財務

人と人をつなぎ、 地域の教育を支える仕事

MESSAGE

国立大学法人等は教職員だけでなく学生や地域の人など、人と人をつなぐ仕事になるので充実した日々を過ごせること間違いなしです。一緒に地域の教育を支えていきましょう。



令和2年
4月採用

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

元々、地元の教育や成長に貢献したい気持ちを持っており、仕事について調べていく中で勧められたのが国立大学法人等職員でした。当時大学生で大学職員の方に親身に対応いただいたこともあり、興味を持ち始めました。それをきっかけに説明会などに参加する中で私も学生や地域の力になりたいと考え、志望しました。

現在の業務内容について教えてください。

研究や学校行事に必要な物品の調達や学校運営に係る役務調達を行います。物品や役務調達は、他部署はもちろん地域業者との連携が必要となっていくことが多くあります。学校と業者の間をつなぎ、適切な契約を進めています。また、購入物品等の支払決議や資産管理に係る書類の作成や校内の資産管理など様々なことを行います。

職場の雰囲気について教えてください。

いつもでも相談しやすい雰囲気です。困ったことや分からないことをそのままにせず、相談できるため、業務をスムーズに進めることができ、また業務の理解を深めることができます。研修も充実しており、他高専職員と交流する機会もあります。たくさんの人と関わり日々学ぶことが多いため、充実した日々を過ごすことができます。

働く前とのギャップや働く中で気づいたこと。

業務の多種多様さに驚きました。働く前は、デスクワークや学生対応を中心に働くイメージがあったのですが、実際には今の部署のような物品や役務の調達を行ったり、学校の広報活動や式典の準備を行ったりする部署があったりと様々な業務が行われています。多種多様な業務のため、新たに学ぶことも多く日々刺激を感じています。

鶴岡工業高等専門学校
総務課 用度係

金内 美郷
Kanauchi Misato

私の1日

TIME SCHEDULE

9:30

物品の調達

各業者に連絡し、物品の見積りをもらいます。見積りを確認後、物品の購入手続きを進めます。場合によっては、見積り合わせや入札の準備を各部署と確認の上、進めていきます。

13:30

各打ち合わせや会議に参加

契約について業者の方と打ち合わせをしたり、物品調達に係る会議に参加したりします。打ち合わせ後、議事要旨を作成し、各部署へ照会・書類の作成などを依頼します。

15:30

伝票の作成

予算の支出に問題がないか、書類に不備がないか確認しながら、作成していきます。

教務・学生

幅広い側面から学生生活をサポート

MESSAGE

国立大学法人等職員は、それぞれの業務の中で幅広い知識と経験を積むことができる魅力的な職場です。皆さんと働けることを楽しみにしています！



令和4年
4月採用



福島工業高等専門学校
学生課 学生支援係
青山 竜水
Aoyama Tatsumi

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

将来を担う学生を支えるという点から、自分の学生時代にお世話になった方たちを重ね合わせ、公務員を志す中で国立大学法人等職員という職業に魅力を感じました。また、教育現場を通じて地域に貢献したいという思いもあったため、地元東北地区を志望しました。

現在の業務内容について教えてください。

授業料減免制度である高等学校等就学支援金制度、地方公共団体等からの奨学金に関する業務を主に行っています。また、課外活動に関する資金管理のほか、アルバイトや運転免許の取得といった、高校生相当の学生の指導についてもとりまとめています。

職場の雰囲気について教えてください。

所属する学生課内の係が一つの部屋にまとまっているため、ほかの係の方とも気兼ねなく話せる雰囲気です。自分の係で取り扱いのわからない事柄についても、気軽に相談することができます。また、休み時間や放課後は多くの学生が来室するので、明るい雰囲気です。

仕事をしていて楽しい!うれしい!と思う瞬間は何ですか？

学生やその保護者に対して適切な対応が取れた時です。学生からはアルバイトや車両通学などの許可手続き、保護者からは各種奨学金についての問い合わせがよくあります。相談の内容に適した手段を案内できたときは、期待に応えられたという達成感とうれしさを感じます。



私の1日

TIME SCHEDULE

8:30

出勤

メールや各種決裁文書を確認し、一日のスケジュールを組み立てます。

10:00

各種奨学金対応

高校生向けの就学支援金制度や、地方自治体などからの奨学金の通知およびとりまとめ。

13:00

各種業務

部活動等の預り金のとりまとめのほか、時期によってロボットコンテストに関する業務、表彰対応、新入生への通知書類の作成などを行っています。

14:00

窓口対応

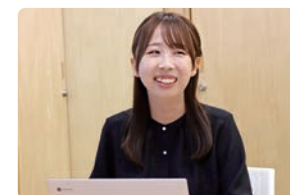
放課後の学生対応を行います。各種提出物の対応、カギの貸し出し、落とし物の受け取りや引き渡しなど、多岐にわたります。

情報推進

未来をつくる、大学DXの最前線

MESSAGE

私たちの仕事は、デジタル技術を活用して大学の未来を築き、社会価値の創造にも貢献できます。より働きがいのある職場環境を築くために、ともに挑戦してみませんか？



令和5年
4月採用



東北大学 情報部
デジタル変革推進課
デジタルイノベーションユニット
木村 紗友里
Kimura Sayuri

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

当初は地方公務員を志望しており、生まれ育った宮城県に何かしらの形で貢献したいと考えていたところ、公務員試験と類似の形態で受験できる国立大学職員の道を見つけました。身内に教職関係が多く、塾講師のアルバイトもしていたことから、学びを支える場で働くことに興味を持ち、地域貢献かつ国際的視野を持って働ける東北大学に魅力を感じ、志望しました。

現在の業務内容について教えてください。

事務職員が業務で利用する事務業務システム基盤の保守・運用を担当しており、仮想デスクトップの管理や事務職員からのPCに関する問い合わせ対応などを行っています。また、学内で発足した業務のDX推進プロジェクトの広報チームに所属し、活動内容を広く発信するため、WEBサイトの編集や写真撮影、動画編集などクリエイティブな業務も行っています。

職場の雰囲気について教えてください。

私の所属する課は業務のDX推進プロジェクトの運営を担当していることもあり、チャレンジ精神が旺盛なメンバーが多く、和気あいあいとしていて楽しい雰囲気の職場です。また、テレワークとフレックスタイムが積極的に活用されており、子育て中の先輩も多く活躍していることから、働きやすく長期的なキャリアを築きやすい環境だと感じています。

仕事をしていて楽しい!うれしい!と思う瞬間は何ですか？

職員からの問い合わせへの対応で問題が無事に解決し、感謝の言葉をいただく瞬間は特に嬉しいです。こうした対応の積み重ねが大学全体の円滑な運営に寄与していることにやりがいを感じます。また、DXプロジェクトでメンバーと協力してコンテンツを作り上げ、学内外に公開された時には、自分たちの成果が大学の未来づくりに繋がっていると実感し、達成感を感じます。

私の1日

TIME SCHEDULE

8:30

メール確認

仮想デスクトップ利用者からの問い合わせやシステム業者からのメールを確認し、回答します。

10:00

仮想デスクトップの
管理業務

時には仮想デスクトップのログを取得し、トラブルの原因調査を業者に依頼します。

13:00

ミーティング

DXプロジェクトの広報コンテンツをより充実させるため、プロモーションチームのメンバーで意見を出し合い、内容を検討します。

15:00

動画編集

DXプロジェクト活動報告の動画編集をします。

病院事務

新たなやりがいと 自己適性が見つかる仕事

MESSAGE

大学は様々な業務の上にあるため豊富な経験と高い専門性をもった職員がおり、成長へ繋がる環境です。私も職員として日が浅いので皆さんと一緒に成長していけたらと思います。



令和5年
4月採用



山形大学 飯田キャンパス事務部
医事課 医事企画担当

佐藤 右京
Sato Ukyo

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

地元山形県で、山形県のために仕事したいと考えていた私は、県職員を志望していました。その中で大学法人試験の説明会に参加した際、研究支援業務の話聞き、大学の研究を支援することで、地元へその成果を還元することができると分かり、自分のやりたいことへの新たなアプローチが見つかりました。この発見が志望するきっかけとなりました。

現在の業務内容について教えてください。

主に施設基準の管理を行っています。施設基準は、医療やサービスの質を保證することで、料金の加算を受けられる基準のことで、病院の収入に関わる大事な業務です。看護師の配置数や手術件数の確認、施設基準に必要な数値の算出等を行っています。施設基準を新たにクリアした際や満たさなくなった際には、厚生局への届出作業も行います。

働く前とのギャップや働く中で気づいたこと。

大学であれば学生対応、病院であれば患者対応を想像しがちですが、実際に働いてみると様々な業務の上に大学や病院が成り立っていることが分かります。本来自分が想像していた業務・やりたかった業務ができるとは限りませんが、その分、新たなやりがいや自分の適性を見つけることができる職場であると感じています。

仕事をしていて楽しい!!うれしい!!と思う瞬間は何ですか？

施設基準の届出が無事完了した時です。新たに届出をしたい旨の依頼が医師から届きますが、施設基準の種類は莫大ですので、都度内容を読み込み、本院が基準を満たしているか確認します。満たしていない状態で診療が行われないよう医師と情報共有をよく行った上で届出を行い、届出が受理された際は嬉しくもあり、ほっとする瞬間でもあります。

私の1日

TIME SCHEDULE

9:00

メールの送信

月初に変更となった施設基準一覧や掲示物のデータを、関係者へメールで送信します

10:00

他院への照会

施設基準で必要となる患者の転院情報について、他院へ照会をかけます。

13:00

入院患者の情報確認

施設基準で必要となる入院患者の情報を調査し、集計します。

15:00

看護配置の確認

看護師の勤務表を確認し、施設基準で必要とされている看護数が配置されているか確認します。

図書

学術情報の整備・提供を通じて 学びと研究を支える

MESSAGE

大学図書館の仕事は多岐に渡り、様々な経験を積むことができます。学生や研究者を支える立場でありながら、自分自身も成長することができる職場です。



令和2年
4月採用



東北大学附属図書館
北青葉山分館 図書係

小林 千夏
Kobayashi Chinatsu

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

大学での学び・研究を支えたいと思い志望しました。当時は研究者への憧れもありましたが、陰で支える役割のほうに自分には向いていると感じて大学職員を目指すことにしました。

実際には、職員にも調査研究の機会が設けられています。図書館の年報やウェブセミナー等で成果を発表している図書館職員もいます。

現在の業務内容について教えてください。

日常業務として、カウンターでの貸出・返却等の対応、参考調査(事項や所蔵の調査)、図書の選定、ウェブサイト・SNSの更新、館内掲示物の作成などを行っています。年次業務としては、雑誌の購読希望調査、雑誌の製本準備、ガイダンス等を担当しています。チームで協力してイベント(附属図書館企画展や国際会議等)の企画・運営に取り組むこともあります。

職場の雰囲気について教えてください。

周囲に相談しやすい雰囲気です。仕事を進める上で判断に迷うことがあれば、必ず上司に相談するようにしています。また、有志の勉強会等を通じて、若手職員同士で情報交換をする機会もあります。日々の業務で生じる問題や悩みを周囲と協力しながら解決できる職場環境が整っています。

働く前とのギャップや働く中で気づいたこと。

「図書館」というと紙の本に囲まれて仕事をするイメージがありましたが、大学図書館が扱う資料には、紙の図書や雑誌に加えて、電子ブック、電子ジャーナル、データベース等も含まれます。また、機関リポジトリという、大学の研究成果を公開するプラットフォームの管理も、図書館の重要な役割の一つです。

私の1日

TIME SCHEDULE

9:00

カウンター業務

カウンターで図書の貸出・返却の処理を行ったり、利用者からの質問に答えたりします。

11:00

メール対応

大学内の業務連絡のほか、利用者からの質問や他大学からの調査依頼に回答します。海外の図書館と英語でやり取りを行うこともあります。

13:00

図書の選定

図書館の蔵書構築のため、新刊を中心に年間約1,000冊の図書を選定します。紙の本だけでなく、電子ブックを選定することもあります。

14:30

雑誌の製本準備

年に1度、購読している雑誌の製本を行います。雑誌を束ねて製本の準備をします。

施設系技術

建築や設備が好き・興味があるなら
施設系技術職員へ！

MESSAGE

施設系技術職員は、建物・設備の保全や工事の設計・現場監理など様々な業務を行います。携わった建物や設備が結果的に日本の将来やものづくりを支えます。



平成31年
4月採用



仙台高等専門学校
事務部 管理課 施設管理係
今野 峻太
Konno Shunta

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

私自身が仙台高専の本科(機械システム工学科)を卒業しており、大変お世話になった学校に対して、施設整備の面から携わりたいと考えて志望しました。加えて、もともと工学、設備が好きだったこともあり、色々な施設や設備を維持管理し、知識や技術面での成長を期待していました。

現在の業務内容について教えてください。

日常的には施設の各種不具合の対応を行い、定期的に行う各種点検では依頼や結果報告の確認、是正を行います。並行して、現在は比較的小規模な工事の設計と、大規模工事の現場監理を行っています。様々な業務があり、経験に伴って成長を感じられます。

職場の雰囲気について教えてください。

職場の雰囲気はとても良好だと感じています。私が所属する管理課事務室は現在計11人在室しています。みなさん穏やかで、お昼休みには休養室で談笑や、自席で仮眠をとるなど各々過ごしています。わからないことを聞くと親切に教えてくれる・調べてから情報共有するなど同僚と助け合うことができ、上司から部下への指示・指摘も適切に行われていると感じます。

仕事をしていて楽しい!うれしい!と思う瞬間は何ですか？

工事が竣工した後、成果品を目にしたり実際に成果品を使用してもらっていることを見かけたときには苦労が吹き飛ぶくらい嬉しいです。自分の中では、理解し対応を検討できる・判断できる領域が広がったと感じるときにとっても楽しいと感じます。

私の1日

TIME SCHEDULE

8:40 [メールチェックおよび返信、 午後の打合せ準備]	10:00 [不具合箇所の現場確認、対応]	11:00 [製図(工事図面)]
12:45 [製図(工事図面)]	13:30 [工事定例打合せ]	15:00 [メール送信(学内周知等)、 資料作成]

教育・研究支援系技術

技術で教育・研究をサポートし、
新しい未来を拓く

MESSAGE

技術職員は、深い専門知識と磨き上げた技術で、学生の教育や最先端の研究発展に貢献する役割を担っています。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています！



令和3年
4月採用



岩手大学技術部 理工学系技術部
理工学系第一技術室
電気電子・情報通信グループ
庄司 愛子
Shoji Aiko

国立大学法人等職員を志望した理由は何ですか？

大学院から岩手大学へ進学し、そこで初めて技術職員の方々に会いました。専門知識が豊富な技術職員が身近にいる環境だからこそ、実験装置の構築や測定手法等について気軽に相談することができ、研究をスムーズに進めることができました。この経験から、学生目線に立ち学びや研究をサポートしたいと本職を志望しました。

現在の業務内容について教えてください。

電気電子系の教育・研究支援が主な業務です。学生実験や研究室で使用する実験装置の開発(設計、製作等)・保守や学生への技術指導、実験・解析、技術相談への対応を行っています。その他、所属部署と他機関の技術職員で共同開発を進めている緊急時警報通知システムを製作し実験室等に設置する活動を行っています。

職場の雰囲気について教えてください。

職場は、異なる専門分野の技術職員同士で知識を共有でき、学びが多い環境です。気軽に相談できる雰囲気があり、困った時には多様な視点からアドバイスをいただいています。また、教職員との打合せや学生への対応、他機関の技術職員との交流を通じて、新たな知見を得るとともに、技術的な視野も広がっています。

働く前とのギャップや働く中で気づいたこと。

研修や学会・研究会への参加を通じて、スキルや専門性を高める機会が多くあります。研修では電気系の資格を取得し、外部講師からの技術指導も受け、これらを研究支援業務に活かすことができました。また、ワークライフバランスが取りやすく、テレワークを利用して自宅で解析プログラムの作成業務等にも取り組んでいます。

私の1日

TIME SCHEDULE

9:30 [研究支援] 依頼された研究用実験装置の設計・製作を進めます。装置の修理やデータ解析を行うこともあります。	11:00 [学生実験の準備] 午後の学生実験で使用する装置の準備や動作の確認を行います。	13:00 [学生実験の支援] 実験がスムーズかつ安全に進められるように学生のサポートを行います。	16:00 [随時業務] 共同開発を進めている警報通知システムの製作や業務に関連する情報収集等を行っています。
--	---	---	---

★My Career

マイキャリア

事務系

係員



令和元年7月採用

秋田工業高等専門学校 総務課 調達係
加賀谷 隆之 Kagaya Takayuki

人との関わりが大切な仕事です。

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について。

採用後、学生課学生支援係に配属され、主に就職関係や学校行事、部活動関係の事務を担当していました。窓口対応で学生と関わる機会も多くありました。

学生支援係の業務を約4年経験した後、現在の総務課調達係に異動となりました。調達係では主に物品の発注・管理・契約等を担当しています。学生支援係の時とは打って変わって学生と関わることはほとんどなく、教職員や学外の取引先との対応がメインになっています。

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

丁寧な対応を心がけています。

業務の対応相手が教職員でも学生でも、あるいは学外の方であっても、人と人との関係であることに変わりはないので、なるべく誠実な対応となるよう努めています。

また、現在の業務は金銭や契約に関係するもののため、書類上の数字や文字に対して丁寧に目を通すようにしています。

国立大学法人等で働く魅力について教えてください。

様々な業務に携わることができるのが魅力のひとつだと思います。

部署ごとに業務の内容や性質が大きく異なるので、異動直後は新しく覚えなければならないことが多く大変ではありますが、多様な業務に関わり、視野を広げることができます。

また、高専においては高専ロボコンなど、特有のイベントに触れる機会もあります。

主任



平成24年4月採用

山形大学
飯田キャンパス事務部 研究支援課 研究支援担当

石澤 志保 Ishizawa Shiho

メリハリのある働き方ができます。

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について。

採用後は財務部財務課に配属になり、3年目の時に日本学術振興会へ出向しました。山形大学に帰任した際は本部の研究支援課に配属になったので、出向先での経験を活かして働くことができました。また、この時期に産休と育休を取得しました。復職後は教務を3年弱経験し、現在は医学部の研究支援課に異動したところです。主に倫理審査や臨床研究に関する業務を行っています。

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

業務に対しても人に対しても柔軟でいたいと思っています。変化の速い今の社会では、仕事のやり方も日々変化していくものだと思いますし、自分にとっての当たり前が相手にとってはそうでない場合もあると思います。これまでの経験に頼りすぎず、新しい考えを取り入れながら仕事に取り組んでいきたいです。

国立大学法人等で働く魅力について教えてください。

地方の国立大学の場合、大学の活気がその地域全体の活性化につながると思います。教育や研究だけでなく、様々な角度から地域を支える業務に携わることができるのは、とてもやりがいのある仕事だと思います。

係長



平成10年10月採用

岩手大学 学務部 国際課 国際連携・教育グループ

伊藤 あき子 Ito Akiko

未来につながる仕事のできる、魅力のある職場です。

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について。

現在、主に国際連携に関する業務に携わっていますが、これまで総務系、学務系の部署が多かったです。中でも学長秘書室や動物病院窓口業務、附属病院医療情報課を経験させてもらっているのは、少し珍しいのかなと思っています。最初は戸惑いもありましたが、慣れていくうちにそれぞれの仕事の魅力ややりがいを感じることができ、得難い経験をさせてもらえました。大学職員というと、学生の窓口業務を思い浮かべる方も多いと思いますが、実は色々面白いお仕事をしています。

これまでの経験は現在の業務にどう繋がっていますか？

採用後間もなく、海外の語学研修に参加する機会をいただきました。研修先では手厚く歓迎してもらい、貴重な経験をさせてもらいました。いつか私も海外へ飛び立つ学生や外国からの留学生にかかわる仕事がしたいと思っていたので、国際課に配属された現在、その時の恩をお返しする機会をいただいているところです。

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

仕事を進める上で、まずは優先順位を決めて取り掛かることは基本かと思うのですが、緊急度がもし一緒であれば、苦しい仕事、得意でない分野の仕事から取り掛かるようにしています。また、新しい仕事や難しい役目を与えられたときは、どうしても後ろ向きになってしまいがちですが、成長できるチャンスかも！と自分に言い聞かせて、気持ちを盛り上げています。

ステップアップの例

【事務職員・図書職員】



(職名については、各国立大学法人等により異なる場合があります。)

採用後は、本人の努力、勤務成績等により、基本的には、左記のとおり上位ポストに昇進していくことになります。

課長補佐



平成9年4月採用

八戸工業高等専門学校 総務課課長補佐(総務担当)

佐藤 克彦 Sato Katsuhiko

個性、特技、特徴を生かせる職場です。

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について。

採用当初は弘前大学で調達関係の業務を行っていました。その後八戸高専に異動となつてからは、教務・学生、調達、研究協力、地域連携、情報推進、国際交流、広報、男女共同参画と様々な業務を行ってきました。現在は総務課の課長補佐として、総務関係事務の総括と連絡調整のほか、学内の重要会議や入学式・卒業式などの式典の運営、点検・評価や年度計画に関する業務を行っています。

これまでの経験は現在の業務にどう繋がっていますか？

現在の総務課課長補佐というポジションは、全体を広く見渡すことが必要です。また、他の職員からアドバイスを求められることも多いです。これまで様々な部署で得た経験から、全体を広く見渡す能力が養われ、各部署の業務がどのように繋り学校全体が動いているかということを理解できるようになりました。アドバイスをするうえでも実際に経験したことが大いに役立っています。

国立大学法人等で働く魅力について教えてください。

学校の職員といっても、相手は学生だけではなく、教員や外部機関、企業、地域の方、保護者、中学生等、様々な人との関わりがあります。

業務内容も学生に関することだけではなく、総務、財務等多岐にわたります。

様々な経験によって自分自身が成長できる職場です。

業務内容

先輩職員の声
(事務系)

先輩職員の声
(技術系)

マイキャリア
(事務系)

マイキャリア
(技術系)

研修制度について

ワーク・ライフ・バランス

勤務条件 福利厚生

若手職員アンケート

特集 機関紹介

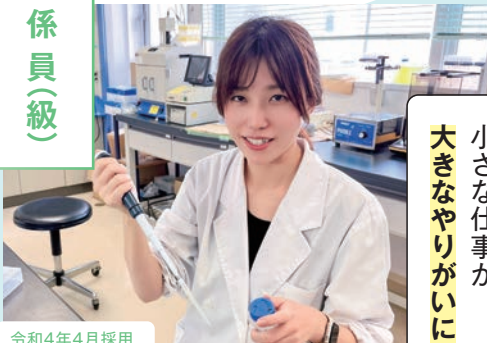
採用試験 組織概要

★ My Career

マイキャリア

技術系

係員（級）



令和4年4月採用

秋田大学 医学部 技術部 病態解析系

佐藤 菜 Sato Nana

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について

採用時からこれまでに異動はなく、同じ配属先で業務を行っています。業務としては、基礎研究を行っている研究室で主に実験操作を担当しています。具体的には細胞培養や遺伝子発現解析、タンパク質の解析などを行っています。そのほかには顕微鏡写真の画像解析や実習での技術的な指導を行うこともあります。今後はゲノム編集やマウスの人工授精など研究室に必要とされる技術を身につけ、業務に活かしていきたいと考えています。

これまでの経験は現在の業務にどう繋がっていますか？

秋田大学総合技術部では年に一度、市民の方向けに技術職員の業務紹介を行うイベントを開催しています。これまで他の職員の企画に参加し配布物の作成や市民の方に体験してもらった操作の条件検討を行ってきましたが、いつかは自分の企画でイベントを盛り上げ、秋田大学が市民から理解され愛される大学になるよう尽力したいです。

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

段取りをすることを心がけています。実験の性質上待ち時間が発生する場面が多いため、その時間を使って次の操作、あるいは翌日の準備などを行っています。そうすると操作をしようと思った時にすぐに始めることができストレスがないです。物品や試薬の補充にも気をつけ、先生や学生の手を煩わせないようにしています。

主任（級）



平成28年4月採用

東北大学 理学部・理学研究科 経理課 施設管理係

石井 歩 Ishii Ayumu

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について

採用1～4年目は本部の施設部で、学内全体の維持管理費調査や大規模改修の設計、工事監理に携わり、施設整備の一連の流れを学びました。5年目から現職の理学部に異動し、主に施設の法定点検対応や不具合修繕の設計、発注を担当しています。仙台に限らず日本各地に実験観測施設があり、工事のため先生方と山奥に出張することもあります。本部と比べて部局の工事は小規模ですが、多様な施設に関わることができる貴重な職場だと感じています。

これまでの経験は現在の業務にどう繋がっていますか？

理学部では限りある予算で施設の維持管理を行う上で、業者発注するか自前で修繕するか判断することがあります。この場面で、本部で経験した維持管理費調査等のお金の規模感が役立っていると思います。業者発注した際にドアの建付け調整やコーキング等を教えてもらい、少しずつ自前でできる範囲が広がることが楽しみでもあります。

国立大学法人等で働く魅力について教えてください。

単に大学施設といっても研究施設に限らず、図書館、病院、ホール、宿舍等、ある意味小さな街づくりを経験できることが魅力だと思います。専門は建築ですが土木を担当することもあります。山奥のトンネルの閉鎖工事を担当した際、資材運搬用に仮設モノレールを作って崖や川を渡る工法を知り、他分野に触れるのも面白く感じました。

施設の多様性よくばりセット。
〜街あり山あり歴史あり〜

係長（級）



平成18年10月採用

山形大学 施設部 施設企画課 施設企画担当

佐々木 美徳 Sasaki Yoshinori

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について

主は「大学施設の整備担当」です。
大学施設の整備といっても所属する場所や専門によってもいろいろありますが、私は、これまで学部担当として学部の建物の運営に必要な整備や修繕の発注などを経験した後、施設部の施設整備担当に異動し建物の新築や全面改修の設計、現場監理（建てるのはゼネコンさん等にお願いする）を行ってきました。現在は企画担当として予算要求のための企画書や予算書の作成などを行っております。

仕事をする上で心がけていることは何ですか？

最近は大学の教育研究の特色、経営の方針などの情報を積極的に取り入れることを心がけております。分野外のことは難しく理解が進まない時もありますが、何のために整備するのかという背景をしっかり理解できると、業務で迷ったときに選ぶべき方向が自然に見えてくるのでは、と思っています。

国立大学法人等で働く魅力について教えてください。

大学には教育研究施設の他、体育施設、附属病院、附属学校など多様な施設があるため、施設整備を通して生活のあらゆるインフラづくりに携われると共に、使われていく建物をそばで見続けられることが特色です。私が初めて担当した建物も18年が経ち、自分と同じくだいぶ年季が入ったなあと愛着を持って過ごせるのも施設担当の魅力かと思います。

ステップアップの例

【施設系技術職員】



（職名については、各国立大学法人等により異なる場合があります。）

課長補佐（級）



平成21年10月採用

東北大学 事業支援機構 総合技術部

大村 和世 Omura Kazuyo

これまでのキャリアパスと現在の業務内容について

民間企業で約12年の実務経験があり、2009年10月の採用以来、金属材料研究所で機器分析の担当として、装置の維持・管理、受託分析を担当しています。技術一般職員、技術専門職員、技術専門員とキャリアを重ねて、現在は従来の技術業務だけではなく、金属材料研究所テクニカルセンターのグループリーダー、総合技術部 分析・評価・観測群のグループリーダーとしてマネジメント業務も行っています。

これまでの経験は現在の業務にどう繋がっていますか？

分析の経験・知識は勿論ですが、人間関係の構築が重要だと実感しています。自分では解決できない課題でも、あの装置であればできる、あの人の聞けば何かわかる、という提案ができることで、課題解決につながっていると思っています。最近では、大学に寄せられた技術相談にも対応しているので、交流のある他部門の人材や装置情報などが役立っています。

国立大学法人等で働く魅力について教えてください。

常に新しい出会いがあり、刺激を得られる職場だと思います。毎年新たに配属される学生だけではなく、留学生や国内外の研究者、共同研究先の企業の方など多くの方が訪れます。業種、年代、民族、文化など多種多様なバックグラウンドを持つ方々と交流できるのは大学ならではの魅力だと思います。

教育・研究支援系技術職員は専門性がそれぞれ異なるため、定期的な人事異動はありませんが、個人の異動希望や各部局の要望などを基に異動配置を進めています。

【教育・研究支援系技術職員】



業務内容

先輩職員の声
（事務系）

先輩職員の声
（技術系）

マイキャリア
（事務系）

マイキャリア
（技術系）

研修制度について

ワーク・ライフ・バランス

勤務案件・福利厚生

若手職員アンケート

特集 機関紹介

採用試験 組織概要

研修制度

TRAINING SYSTEM

職務の遂行に必要な知識の習得、 能力の向上を目的とした多様な制度があります。

多彩な部署で多様な業務に従事し、様々な課題に取り組むためには、職員一人ひとりの持てる能力を十分に引き出す必要があります。そのため、各国立大学法人等では、職員の能力開発・育成に積極的に取り組んでいます。

人事異動・人事交流

各機関では職員が幅広い実務経験を積み、業務全般に精通できる能力を養うことを目的として、概ね2～3年毎に本人の適性や職務経験などを総合的に勘案しながら、他の部局への人事異動を実施しています。文部科学省等の他機関へ出し、一定期間勤務することもあります。

階層別研修

キャリアに応じて、能力アップ

役職に応じて、必要な知識と自覚、社会的視野などを身につけることを目的として行われます。

初任者研修 若手職員研修 中堅職員研修 主任研修 など

実務研修

職務に応じた知識&スキルの修得

職務に応じた専門知識の習得を目的として行われます。

事務職員 会計事務研修 国際交流担当職員研修 人事事務担当者研修 など
図書職員 図書館等職員著作権実務講習会 目録システム書誌作成研修 など
施設系技術職員 施設系担当職員研修 工事契約実務研修 など
教育・研究支援系技術職員 技術職員研修 各専門分野に応じた研修 など

その他の研修

※実施される研修は、各機関や年度によって異なります。

語学研修 自己啓発研修(eラーニング、放送大学等) 海外派遣研修
文部科学省行政実務研修 人事交流 など

研修体験者の“声”



東北地区国立大学法人等 若手職員研修

岩手大学 経営企画本部
戦略企画・評価分析室
戦略企画グループ

高橋 智子
Takahashi Tomoko

令和3年
4月採用

本研修には、東北地区の国立大学・高専所属の若手職員が参加し、「主体性」や「課題発見・解決力」、「ビジネスコミュニケーション力」を中心に社会人基礎力について学びました。研修を通じて、入職からこれまでに振り返り、現在の自分にはこれらの能力が十分に身につけていないことを痛感しました。また、他機関に所属する職員との意見交換を通して、各機関の取組や自分が携わったことのない分野の業務について知ることができ、良い刺激を受けました。研修後は、自ら考え行動することや相手に合わせた伝え方を心がけ、業務を遂行しています。



文部科学省研修生

福島大学
人事課 給与係

結城 翔平
Yuki Shohei

平成28年
4月採用

文部科学省行政実務研修生として、国立大学法人運営費交付金のとりまとめや補助金の執行管理などの業務を経験しました。運営費交付金の概算要求に関する業務では、運営費交付金の仕組みを知ると同時に、国の視点から全国の大学の取り組みや状況を把握することができ、所属大学の立ち位置を再認識することができました。

また、本研修では、業務経験に加えて、国の関係機関の施設見学、文部科学省職員の方々や全国から集まる研修生との交流など数多くの貴重な機会があります。これらを通じて、自身の価値観や視野が広がり、大学職員としての成長につながったと感じています。



海外派遣研修

弘前大学
国際連携本部
国際連携推進部門

安田 啓徳
Yasuda Takanori

平成28年
4月採用

海外実務研修としてニュージーランドのオタゴ大学語学センターで約9か月の語学研修と、オタゴ大学国際部で約3か月のインターンシップを行いました。

オタゴ大学語学センターではスピーキング、ライティング、リーディング、リスニングなど英語を基礎から勉強し、語学力の向上に努めました。その後のインターンシップでは海外での働き方や国際交流業務に欠かせない英語力を磨くことができました。実際に海外の大学で学び働くことで語学力の向上だけでなく、日本の大学とは異なった業務の仕組みや考え方を学ぶことができ、新しい気付きを得ることができました。



人事交流

一関工業高等専門学校
総務課(総務担当)
学術情報係

千葉 知美
Chiba Tomomi

平成23年
4月採用

東北大学財務部へ2年間出向しました。当時はコロナ禍で困難もありましたが、作業電子化など社会状況への適応を進めながら業務効率化を追求する日々には、やりがいを感じました。ニューノーマルが当たり前になるまで、課題発見と試行錯誤の連続でした。そこで鍛えられた多角的な視点と思考力は、客観性が求められるあらゆる場面で判断の質を高めてくれました。数年が経った今、大学での経験が成長に結びついてることをより強く実感しています。経験に勝る財産はありません。勇気を出して新天地へ飛び込んでみて、良かったと思います。

※組織名称・所属等はインタビュー当時のものです。

趣味

小岩 俊彦

平成7年4月1日採用

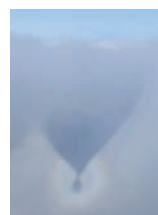
一関工業高等専門学校
技術室

KOIWA TOSHIHIKO



私の趣味は熱気球でフライトすることです。毎年秋に地元で熱気球大会が開催されますが、地元の空一面に沢山の熱気球が彩られる光景を目にしたとき「空を飛んでみたい」と思いました。地元の熱気球クラブに所属し、パイロットになるための実技訓練を経て2018年に熱気球操縦士技能証(パイロットライセンス)を取得しました。休日は地元の市民向けの熱気球係留体験搭乗会や小学生向けの熱気球工作教室、毎年開催される熱気球大会のお手伝いなどクラブの活動を行っ

ています。昨年は念願の熱気球を購入し、東北地区(岩手県、宮城県、秋田県)のフライトエリアでフライトを楽しんでいます。熱気球のフライトは気流の安定している朝の時間帯が適しているため、太陽が昇る時間までに離陸地に移動して寒い中、熱気球を組み立てなければなりませんが、離陸後に上空から眺める地上の大自然、雲に映るブロッケン現象はとても幻想的な世界です。熱気球は風を利用して移動するためフライトの途中で風の吹き方が変わり、着陸予定地に移動できないこともあります。パイロットはその都度、新たな着陸予定地を宣言し行動しなければなりません。仕事でも予定通りに行かないことが多くありますが、熱気球パイロットで得たこの貴重な経験を今後の仕事にも活かしていきたいと思っています。



民間企業からの転職者

佐々木 葉月

令和5年4月1日採用

秋田大学
入試課 全学担当

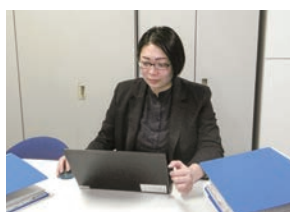
SASAKI HAZUKI



●以前の業界・職種
…運輸業界・営業職

Q1 国立大学法人等を志望した理由について教えてください。

当時の転職活動中に大学の職員の募集を見つけた際、自身の大学時代での生活を思い出しました。私自身、大学生活において大学職員の皆様にはとてもお世話になり、親身に相談にに応じていただいたことを今でも心証深く残っています。そうした大学職員、延いては出身県である秋田の大学職員になりたいと思い、現在の国立大学職員を志望しました。



Q2 民間企業との違いはどのようなときに感じますか。

第一に大きな違いとして、学生の皆様とお話をする機会があるということです。私自身、営業職をしていたこともあり業務として接する機会が多かったのは営業先のお客様でした。学生の皆様とは、そうしたお客様とはまた異なった関係性の中で信頼関係を構築していくため本職はとても新鮮な経験でした。新しい経験、そしてこれまでの経験を引き続き活かしながら、これからも大学職員として業務に邁進していければと考えています。

Q3 国立大学法人等職員へ転職を考えている方へアドバイス、メッセージ等をお願いします。

社会人経験を経た上で、職員となることは大変貴重だと思います。新鮮な経験をする一方で、これまでの経験を活かせる場面もあるかと思います。自身の将来を思い描きながら、ぜひ国立大学法人等職員を検討してみてください。



育児休業取得者

川浪 理奈

平成30年4月採用

宮城教育大学
研究支援・多文化共生推進課
研究支援係

KAWANAMI RINA



●利用した制度
…育児休業(子2人 合計3年間)、
部分休業(1日2時間 令和6年6月~)

Q1 現在担当している職務について教えてください。

研究支援業務を担当しています。主に、研究倫理審査や動物実験関連業務、研究に対する研究費支援、外部からの研究助成金・寄附金関連業務などを中心に、大学の研究に関する業務を行っています。



Q2 育児休業から仕事に復帰し、仕事と子育てを両立することの喜び、苦労、工夫ややりがいなどについて教えてください。

仕事と子育ての両立は大変なことも多いですが、職場の様々な制度のおかげで、どちらも大切にすることができています。育児休業を長めに取得できたことで、子どもが小さい時期に安心して子育てに集中できました。復帰後は部分休業制度を活用し、通常より1日当たり2時間短く勤務しています。業務時間が短いため仕事の分量も配慮していただき、感謝しています。子の看護等休暇などもあり、周囲の方も子育てに理解があるので、とても働きやすい環境です。



Q3 将来育児休業等の取得を考えている方へメッセージをお願いします。

男性も女性も、多くの方が育児休業などの制度を利用しています。仕事も子育ても大切にできる意識や環境があることが、大きな魅力の一つだと思います。制度を活用しながら、ぜひどちらも楽しんでください!

工藤 奨太

平成26年4月採用

弘前大学
医学部附属病院 経理調達課
経理調達グループ

KUDO SHOTA



●利用した制度
…育児休業(1年間)

Q1 現在担当している職務について教えてください。

病院内で医療従事者が使用する医療材料の契約・支払い業務と、価格交渉がメインです。育休復帰後、これまで未経験だった病院に配属され当初は不安でしたが、貧乏性の性格が功を奏しているのか、価格交渉は特にやりがいがあります。



Q2 育児休業から仕事に復帰し、仕事と子育てを両立することの喜び、苦労、工夫ややりがいなどについて教えてください。

1年間の育児休業を終え、仕事に復帰しましたが、仕事と子育ての両立には喜びと苦労がつきものだと実感しています。子どもの成長を見守りながら仕事を続けることは、大きなやりがいですが、急な発熱や夜泣きには柔軟な対応が求められます。試行錯誤の毎日ですが、家事や育児の分担をパートナーと話し合い、効率的な時間の使い方を工夫することで、充実した生活を目指しています。

Q3 将来育児休業等の取得を考えている方へメッセージをお願いします。

育児も仕事も、挑戦の連続です。育児を通じて学んだ忍耐力、瞬時の判断力、感情のコントロールは、仕事にも驚くほど役立っています。ぜひ、育児休業を通じて新たな視点と成長を実感してみてください!



勤務条件

具体的な勤務条件は国家公務員の水準をベースとして各機関で独自に定めています。
以下で紹介する内容は一般的な勤務条件等です。

勤務時間

1日7時間45分(週38時間45分)

休憩時間

45分または60分

休日

土曜日、日曜日、祝日、
年末年始(12月29日～1月3日)

有給休暇

年次有給休暇

年間20日(年の途中で採用された場合は、その期間に応じた日数が与えられます。例として4月1日採用者の場合、その年は15日)、残日数は20日を限度として翌年に繰り越されます。
※年間で最大40日

病気休暇

病気やけがの休養のため、必要と認められる期間を休む時に利用できます。

特別休暇

リフレッシュ休暇、結婚休暇、産前・産後休暇、子の看護等休暇、ボランティア休暇、忌引き休暇などがあります。

育児休業

育児に専念するために休業できる制度で、子供が3歳になるまでの間、職種・男女を問わず利用できます。なお、部分休業や短時間勤務制度もあります。

介護休業

配偶者、父母、子、配偶者の父母等が負傷、疾病または身体上もしくは精神上の障害により介護を必要とする場合、各国立大学法人等が定める期間の範囲内で利用できます。なお、部分休業や短時間勤務制度もあります。

給与

初任給

約220,000円～約240,000円程度
(学歴や採用前の職歴に応じて決定します。)

昇給

年1回各人の勤務成績に応じて昇給します。

手当等

賞与

6月と12月に支給します。

時間外勤務手当

所定の労働時間を超えて勤務した場合、割増賃金を支給します。

通勤手当

通勤距離が2km以上で、通勤に公共交通機関、自動車、自転車等を利用している場合に支給します。

住居手当

借家・アパート等に居住し、要件を満たす場合に支給します。

扶養手当

扶養親族になる人がおり、要件を満たす場合に支給します。

福利厚生

文部科学省共済組合

病気・出産・育児・介護等の際の給付制度のほか、団体積立終身保険制度、財形持家融資制度、各種貸付事業等を設けています。

労働災害補償制度

業務上の災害(負傷、疾病または死亡)、通勤途中の災害に関して、社会復帰や生活のための保障制度を設けています。

宿舎

有料の世帯用宿舎や単身用宿舎を用意している国立大学法人等もあります。(希望者が多い場合は入居できないことがあります)

レクリエーション

年間を通じて、さまざまなスポーツや文化活動の行事が企画されています。学内だけでなく、他の国立大学法人等との交流を深めることができます。

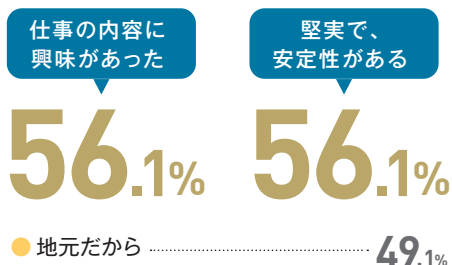
施設等

体育館・テニスコート等の各種施設を昼休み等に利用でき、職員によるサークル活動にも活発に利用されています。また、附属図書館も利用できます。

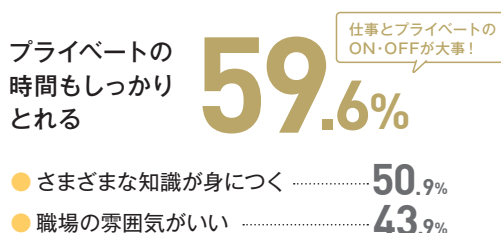
★若手職員アンケート

各機関で働く57人の若手職員の先輩方にアンケートを実施しました！

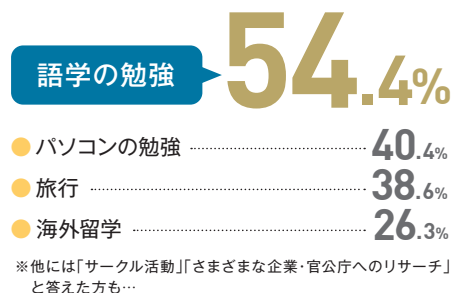
Q1 就職先として、なぜ国立大学法人等を選びましたか？



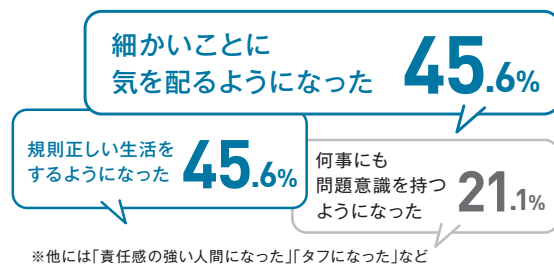
Q3 今の職場に就職して「よかった」と思うことは？



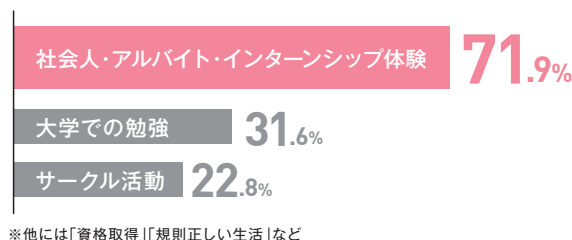
Q5 就職前にしておけばよかったと思うことは？



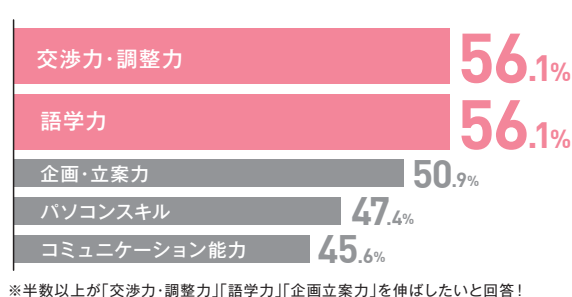
Q2 就職する前の自分と就職後の自分とで何が変わりましたか？



Q4 学生時代等の経験で現在の仕事に役立っていることは？



Q6 今後伸ばしたいと思う素質・能力は？



休日の過ごし方は？

「友人に会う」と答えた方がたくさんいました！

- 友人に会う
- 外食
- 映画鑑賞
- スポーツ
- 読書
- 買い物
- ドライブ
- 趣味
- 習い事
- 家でゆっくり休む etc.

Q7 国立大学法人等で働くことの魅力(やりがい)は？

- 教職員や学生などの様々な人とやりながら仕事を行うため、自分だけでは分からないような視点や知見を得ることができ、日々視野が広がっていくこと。
- 教育・研究の最前線で働けるため、普段なら関わらないような人と関わること。
- 学生と関わることが多い部署なので、彼らの学生生活の助けになれることに一番やりがいを感じる。
- 「研究」「教育」「社会貢献」全てに関わることができる。地域に根差した活動から世界を相手にした活動まで幅広く、身

- 近で仕事ができることで刺激になる。
- 事務職は様々な業務に携わるので、多様な経験を積める。
- 事務の規模が大きいので、定例作業にとどまらない企画・取り組みに関連した仕事があるところ。
- 定期的に異動があり、幅広い分野の研究者に対してサポートできるとともに、自らのスキルアップにもつなげられる点。
- 最先端の研究や実験、器材や施設に触れることができること、場合によっては真逆で、もう売っていない骨董品のよう

- なる器具を使うこともあること。知的好奇心がくすぐられる職場です。
- 教員、学生のキャンパスライフを支えること。
- 専門性の高い教員(研究者)が近くにおり、気軽に話しかけられること。
- これからの日本を支える方々の教育の一端を担っている点。
- 専門知識・技術を習得でき、研究や教育へ還元できること。

Q8 仕事をする上で心がけていることは？

- 優先順位をつけること、いつでも感謝の気持ちを伝えること。
- 報告、連絡、相談を徹底しています。
- 話すことです。相談も、雑談も、結局いちばん大事だと思います。
- 多方面から飛び交う情報をキャッチして知識を吸収すること。
- 一つ一つの積み重ねを大事にする。

- 慣れない業務で間違い等も多々発生する中で、次への反省として経験を積み重ねることで自分自身の成長を目指している。
- 期限を守る、疑問点や不安をそのままにしないで必ず確認すること。
- 迷ったら一人で考え込まずに早めに相談すること。ミスに気づいたらすぐ報告すること。

- 告すること。
- メモや技術報告などでこまめに記録として残し、その知識や技術をわかりやすく伝えていくこと。
- 根拠を元にした確認。
- 発言に責任をもつこと。
- 計画性を意識して業務に取り組む。

Q9 働く前と働き始めた後での、「大学職員」という職業に対するギャップは？

- 働く前は学生とのやり取りが多いイメージがありましたが、意外と先生方や外部の方とコミュニケーションをとる機会が多いのでそこが想像とは違いました。様々な年代の方や自分とは異なる経験をされてきた方との関わりを通しての学びが多いです。
- 担当で割り振られるため、比較的自分の裁量で仕事が進められることです。
- 予想していたよりも数多くの部署や職

- 種があり、それらが密接に関わりあっていたこと。普段は関係のないような部署でも、つながりが生まれている。
- 想像以上に仕事内容が幅広く、配属される部署によって全く仕事内容がちがうこと。
- 学生と接する仕事以外にもたくさんの仕事があり、それによって組織が成り立っていることに驚きました。
- 研修や学会・研究会などに参加することで、スキルや専門性を高める機会が

- 多くあること。
- 少しある。教員との距離が近くなったので、ギャップというか舞台裏のをぞいている気分。
- 技術職ですが、男性ばかりかと思っていましたが女性もそれなりに多くて驚きました。想像していたより居心地のいい職場です。
- 教職員の方々の雰囲気がいい意味でまじめすぎない点。

Q10 採用されて「こんな仕事もあるの？」と驚いたことは？

- 研究支援や国際交流支援の仕事は入職前に具体的なイメージが無かったため、驚きました。
- 採用されて2年目で、役員と2人で海外出張に行くことになった時は驚きました。
- 学内監査対応
- 授業計画の作成、イベントの企画と運営。
- 電気の検針。毎月11階もある建物の屋上に上がって、電気使用量の確認をすること。

- 安全保障輸出管理に関する業務に驚きました。
- 会議の当番の時には、ホテルなどと調整が必要であること。思っているよりも電話対応があること。
- 大学が管理している保育園の保育料請求等、大学とはかわかりが無いと思っていたところでも業務があった。
- 建物の新営、改修工事を行う際のユー

- ザーへのヒアリング業務。
- 教室系の技術職員という、実習のサポートなどをメインで行っている部署があること。
- 教員の研究や学生の教育活動に加えて、安全衛生管理等の学内全体の校務がある。
- 入試会場での警備や受験生の誘導など。

Q11

採用後に参加した、研修、講習会の中で、印象に残ったもの、仕事に役立ったと思うものは？

- 東北地区学生指導研修会で、同じ業務を担当する方と情報共有できたことです。後日、教えてもらった体験談と似た状況に直面した際、同様の対応をしたらスムーズに対応できました。
- 公認会計士からの会計研修。
- 初任研修のビジネスマナー。忘れかけている箇所もあるため、また受講したい。
- 先輩職員との座談会で、何年勤めていても異動のたびに緊張するよと聞いたことが「みんなそうなんだ」という安心材料になった。
- 生成AI研修。日々成長するAIの使い方について、学内で学ぶ機会があることはとても良かった。
- 他高専との相互研修。自高専との違いや共通点などためになった。
- 「若手職員のための社会人基礎力講座」は働く上でのモチベーション向上に役立った。
- TOEIC対策の英語研修。同じくらいのレベルの人たちとオンラインで半年程参加した。目に見えて点数があがったことで、英語への苦手意識が少し改善した。
- 各部署を回る新人研修。研究支援の際、研究にはさまざまな専門分野が関わることから、自分の専門外の分野はどの部署に相談すればよいか分かり、とても参考になりました。

- 救急救命研修を受けて、自分を守る立場になると思い印象に残った。
- 東北大学総合技術部CFCプレーヤー研修担当部会「若手職員のためのスキルアップ研修」で、技術系は多種多様なので、全体研修を実施しても内容が薄くなりがちであったが、主催者の方々がよく構想を練って頂き、充実した内容になっていた。
- 若手職員研修にて、「主体性」について学んだ研修。
- 東北地区技術職員研修

Q12

(転職された方)前職との違いはどのようなときに感じますか？

- 仕事をしていて不明点が生じた際に感じます。前職では、周りに聞いても自分の思うようにやっていいからと言われることが多かったので、丁寧に仕事を教えていただける点がとてもありがたいです。
- リモートワークやフレックス勤務など、柔軟な働き方ができるときに違いを感じます。(前職ではそういった働き方がなかなかできなかったの…)
- 困りごと等を相談する窓口が組織内にあること、コンプライアンス意識の高さ。
- 仕事で人と関わる時、層が、前職だとお客様や市民だったが今は学生・先生・行政・企業となり関わり方が全く異なる。
- 安定した休みが取れること。家族や友人

- と過ごす時間が増えたとき。
- 労働条件(福利厚生含む)の充実。
- 年を通して行う業務がほぼ決まっているため、スケジュールが立てやすいこと。休暇も取得しやすい。
- 競合他社と競っていた一般企業とは異なり、日本を主体として、どう研究を進めていくかをより考える環境になった。

Q13

インパクトの強かった、印象に残っている業務とそのエピソードを教えてください！

- オープンキャンパスです。普段あまり関わることはない部署の方とも協力しながら準備や運営を行ったことが印象に残っています。当日、対応をしている中で、この大学に興味を持って足を運んでくれる高校生や保護者の方々がこんなにもたくさんいらっしゃるのだなど、とても嬉しい気持ちになりました。
- 年末調整業務。社会人1年目で任せられると思っていなかったのですが、インパクトはかなりあります。最初は試行錯誤の連続でしたが、マニュアルや周りの方々に相談しながら、進めていくことができました。
- 食堂什器の入札。新設した食堂に入れ

- る什器類を入札しました。初めての入札で、ついていくのに必死でしたが、完成後搬入された後の光景は、印象に残っています。
- 市内の各大学長及び市長との懇談会を調整・開催したとき。錚々たるメンバーだったため、普段より慎重に業務を進めた。
- 関係機関への出張です。事前に日程決めや資料確認をしていた方と実際にお会いした時に、準備が大変だった分、無事に業務を終えられたことに達成感がありました。
- 学長随行です。一日中学長のお傍にいたので、普段の業務中では聞くことの

- できない話がたくさん聞けました。
- ある研究室のロボットの筐体を製作したこと。もともとあるものから簡易的かつ使いやすく製作したことが苦労が大きいついやりがいや達成感を感じることができた。
- 光熱水量大幅上昇の原因の分析。
- 大型機械の導入に関わる業務。
- 研究室で使用する試験装置の修理に取り組み、無事に動作を確認できたこと。先生から感謝の言葉をいただいたことが印象に残っています。

Q14

これから受験を考えている方に向けて、国立大学法人等職員として働くおすすめポイントを教えてください。

- 多種多様な部署で様々な経験を積むことができるため、自分自身を見つめ成長を感じられるとても良い環境だと思えます。福利厚生が充実することも安心して働くことができる大きな要素の一つです。
- 国立大学法人等職員は、利益を過度に追及しない安定性と公的側面を有しつつも、将来的成長につなげるための独創性や創造性も求められ、そのバランスが適度に含まれた職种ではないかと思えます。双方の感覚をもって働きたい方には特におすすめなのではないかと思えます。
- 大学ほど多種多様な業種のある組織は、稀かもしれません。自分の適性を見つめるのに役立つと思います。
- 学外の方とも接する機会が多く、毎日視

- 野を広げられる仕事だと思います。また、教育機関ということでセミナー等も多く、社会人になってからも学び続けたい方にもおすすめです。
- 福利厚生がしっかりしているので、安心して働くことができます。職場の雰囲気も柔らかく、仕事でわからないところが出てきた時も丁寧に教えていただけるので、働きやすいと思います。
- 大学全体でDX化や国際化を進めており、職員一人一人に求められるスキルも多様化・高度化していると思う。自分が好きなこと・得意なことを活かしてさらにスキルアップできる環境は整っていると思うので、ぜひ挑戦してほしい。
- 学生と関われる機会がある仕事は多くありません。その中でも高専は学生と

- 共に行うイベントや活動も多いため、日々エネルギーを感じながら働くことができます。若い世代の成長を間近で支えたい方には、とてもやりがいのある仕事です。
- 福利厚生として大学の図書館・電子ブック・契約している雑誌(論文)を利用できること。活字大好きな方、ぜひおいでください。
- 競合他社と競っていた一般企業とは異なり、日本を主体として、どう研究を進めていくかをより考える環境であること。
- 専門知識や経験を業務に活かせる。
- ワークライフバランスが取りやすく、テレワークなど柔軟な働き方ができるところに魅力を感じます。

Q15

これから受験を考えている方に向けて、あなたが取った試験対策(第1次試験、第2次試験どちらでも可)について教えてください。

- 第1次試験、第2次試験どちらも実務教育出版が発行している「国立大学法人等職員採用試験攻略ブック」をかなり活用しました。また、第1次試験については国家一般や地方上級試験の練習問題や模試を活用、第2次試験については大学の就職支援課や新卒ハローワーク等を活用して面接の練習を徹底的に行いました。
- 第2次試験に向けて、希望する大学の基本情報や将来構想については特によく調べました。
- 第1次試験：1つの問題集を25周くらいして、ほとんどの問題を解けるように勉強しました。
- 第2次試験：様々な職種の採用試験を受けたり、大学のキャリアセンターや

- 外部の就職支援施設で面接練習をしたりしていました。
- 面接では大学で働く自分を想像し、どうなっていきたいか、どのように大学に貢献していくかを考えておくことは重要だと感じました。特に教員や学生と関わることだけが大学職員の仕事ではないため、そういった運営面についても理解や想像を広げておくことより具体的なビジョンが見えると思います。
- 配属希望の大学に関する情報(広報課などで出している情報)をしっかり確認するようにしていました。
- 数学が苦手だったため、高校生のときに使っていた問題集をひっぱりだして基本問題を繰り返し解いていた。問題集の解説を見てもすっきりしない時は、

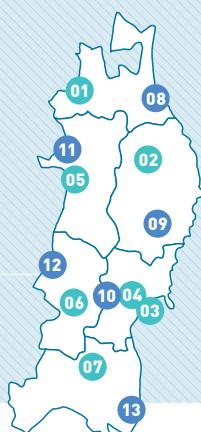
- YouTubeで解説動画を探して、自分なりに納得できるようにした。2次試験については、図書系専門の問題集をやりこんだのと、SNS等で問題傾向について情報収集を行った。
- 第1次試験：市販の過去問等を使用して対策。第2次試験：受験する機関の特色等を調査。
- 面接・ES対策として、応募する大学のオープンキャンパスに参加し、研究内容を確認したり、学生さんや技術職員に話を聞いたりしました。
- 第1次試験は問題集を繰り返し解き、第2次試験の面接対策ではエントリーシートに書いた内容に加えて、自分の考えや経験を自分の言葉で伝えられるよう意識して練習しました。

気になるほかの回答はホームページをチェック!
<https://shiken.bureau.tohoku.ac.jp/shigoto/enq/>



特集 FEATURE ARTICLES

各機関で進められている特徴的な事業や地域連携プロジェクトなどを紹介します。



福島大学

07

水素エネルギー総合研究所の開設

令和6年4月1日に共生システム理工学類附属研究所として設置された本研究所は、水素エネルギーを中核に据えた地方創生に取り組むため、地域の産学官が連携して魅力的な水素関連産業を創出するとともに、地域産業を担う専門人材を育成するための拠点となることを目指します。



八戸工業高等専門学校

08

課題発見力・解決力を育成する「自主探究」

八戸高専では、高専で初めて4学期制を導入し、同時に興味のあるテーマを自分で探し出し、それを科学的に解明したり、実際にものづくりを行う「自主探究」を正課活動として導入しました。「八戸高専ならではの」持続可能な主体的学習システムとして、課題発見力・解決力の育成を目指しています。



一関工業高等専門学校

09

アントレプレナーシップ育成講座で起業家精神を磨く

一関高専では、学生の起業家精神を育成するため、地域企業の課題解決や、新たな価値創造に繋がる仕組みづくりに取り組んでいます。現役高専生で起業をした本校の学生を講師として、実際の体験を交えた講演を行うなど、実践的で特徴的なプログラムを展開しています。

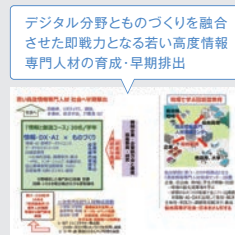


仙台高等専門学校

10

「情報と創造コース」の新設

令和7年4月から、名取キャンパスに、高度情報専門人材の早期育成を目指し、情報とものづくりを融合させた新コース「情報と創造コース」を新設しました。カリキュラムの特長として、企業や自治体等と協働し現場の課題発見・解決のためのスキルを身に付けるための「回遊型教育」が挙げられます。



秋田工業高等専門学校

11

海外研修を活用したグローバルエンジニア育成の取組

学生の夏休み期間を利用して、実践的な英語力の向上と国際的なコミュニケーション能力の育成を目的に、「シンガポール英語研修」と「タイ交流研修」を実施しています。令和6年度は38名の学生が参加し、現地学生との交流を通じてグローバルな視野を広げ、異文化理解を深める貴重な機会となりました。



鶴岡工業高等専門学校

12

新コース、デジタルデザインコースがスタート

令和7年度新設のデジタルデザインコースの授業がスタートしました。時代のニーズに合わせた即戦力人材育成に向けて、タブレット端末を用いた授業など実践的なカリキュラムと、学生ひとりひとりにメンター教職員が配置されテーマの設定から活動までを包括的にサポートする体制が構築されています。



福島工業高等専門学校

13

磐陽テックガレージを設置

学生の優れた技術力と柔軟な発想をいかした実践的な活動を支援するため、「磐陽テックガレージ」を設置しました。素材の加工等を行う「工房」と動画制作等を行う「スタジオ」で構成しています。アントレプレナーシップの育成を目的としており、社会課題の解決や地域活性化に向けて取り組んでいます。



弘前大学

01

オープンイノベーションプラザを起点とした起業支援

弘前大学では、起業支援の活動拠点「オープンイノベーションプラザ」を開設し、ロールモデルの紹介をする「先輩起業家との交流会」を開催しています。スタートアップマインドを持つイノベーターの育成や、学生・研究者のアイデア創発の場として活用し、大学発スタートアップ創出に取り組んでいます。



岩手大学

02

学内コワーキングスペース「イーハトーヴ協創ラボ」

岩手大学では、地域との協創を目的としたコワーキングスペース「イーハトーヴ協創ラボ」を学内中心部に開設しています。学生・教職員に加え、企業や自治体関係者も利用するこの空間では、自由な発想が飛び交うオープンイノベーションの場として、常に新しい出会いとアイデアが生み出されています。



東北大学

03

業務のDX推進プロジェクト

東北大学では、ニューノーマル時代にふさわしい教育研究環境の実現、魅力ある職場環境の創成を目指し、業務課題に対してデータとデジタル技術を活用した変革(DX)に取り組んでいます。さらに地域や組織の枠を超えて連携し、DXによってビジネスモデルを進化させ、新しい価値の共創を目指しています。



宮城教育大学

04

1年次学校体験(ふるさとインターンシップ)

1年次学校体験は、1年生が出身の公立小・中学校等で学校体験を実施する事業であり、東北地方の各出身地への教員輩出に寄与することを目的としています。平成29年度に青森県と宮城県からスタートし、令和4年度から東北全県で実施し、令和6年度に授業科目の一環として教育課程内に位置づけました。



秋田大学

05

世界・地域を視野に未来を創造する

秋田県はかつて国内有数の資源の産地であり、本学は開学以来日本の高度成長の原動力となる資源研究・人材育成を担ってきました。国際資源学部では「海外資源フィールドワーク」を通し、海外実習の機会を設け、エネルギー問題に直面する現代において、国境を越え課題解決できる人材育成を行っています。



山形大学

06

社会共創デジタル学環を設置

令和7年4月、山形大学が目指す新たな教育のかたちとして、学部相当の教育組織「社会共創デジタル学環」を開設しました。本学環では、今日の様々な地域課題を解決していくために、「マネジメント力」、「デジタル活用力」、「学際的思考力」を身に付けた、課題解決型の実践人材を育成します。



check!

それぞれの項目のQRコードからWebサイトもチェックしてみよう!!

機関紹介

EMPLOYMENT INFORMATION



国立大学法人
弘前大学



- 学 長：福田 眞作
- 所 在 地：〒036-8560
青森県弘前市文京町1
- 教職員数：2,069名
- 学 生 数：学 部/6,013名
大学院/1,049名

世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学

弘前大学では、「世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学」を motto に、積極的かつ独創的な発想の基に改革を推進し、本学の立地する青森県の特性を生かした個性豊かな新しい大学を創造するため、また、地域社会でリーダーとして活躍し、さらに全国、世界に羽ばたく国際感覚豊かな人材の育成と教育、研究、地域貢献等の一層の充実のため、様々な取り組みを行っています。これらの取り組みを更に充実・発展させるため、弘前大学は、みなさんの新鮮な感性、柔軟な発想、行動力を必要としています。

採用担当部署／総務部人事課人事グループ
☎ 0172-39-3021
✉ h-saiyo@hirosaki-u.ac.jp
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/>



国立大学法人
東北大学



- 総 長：富永 伸二
- 所 在 地：〒980-8577
宮城県仙台市青葉区
片平二丁目1-1
- 教職員数：6,578名
- 学 生 数：学 部/10,733名
大学院/7,242名

創造と変革を牽引する大学

東北大学は日本で3番目の帝国大学として1907年に設立されました。杜の都仙台の中心部に4キャンパスを構え、10学部、15大学院、6研究所、病院、附属図書館等多くの研究施設を擁しています。建学以来、研究第一・門戸開放・実学尊重の理念のもと優れた人材を輩出し、数多くの研究成果を創出してきました。2024年度には国際卓越研究大学制度に認定され、創造と変革を牽引する「世界から尊敬される三十傑大学」を目指して様々な課題に挑戦しています。私達とともに本学の未来を切り開いていく情熱ある方をお待ちしております。

採用担当部署／人事企画部人事企画課人材育成係
☎ 022-217-4825
✉ saiyo@grp.tohoku.ac.jp
<https://www.tohoku.ac.jp/>



国立大学法人
岩手大学



- 学 長：小川 智
- 所 在 地：〒020-8550
岩手県盛岡市
上田3丁目18-8
- 教職員数：701名
- 学 生 数：学 部/4,619名
大学院/876名

共考と協創(共に考え、協力して創る)

岩手大学は、宮澤賢治も学んだ歴史と伝統を持ち、市街地にありながら緑あふれるキャンパスに人文社会科学部、教育学部、理工学部、農学部、獣医学部(R7新設)の5学部及び教育研究施設等が集まる総合大学です。また、学術文化の創造と幅広く深い教養と高い専門性を備えた人材の育成により、地域社会の文化の向上と国際社会の発展に貢献することを目指しています。『共考と協創(共に考え、協力して創る)』を行動規範に掲げ、地域活性化の中核的拠点として教育・研究・社会貢献活動を推進する岩手大学で、あなたの力を発揮してみませんか。

採用担当部署／法人運営部人事課人事グループ
☎ 019-621-6010
✉ sjinji@iwate-u.ac.jp
<https://www.iwate-u.ac.jp/>



国立大学法人
宮城教育大学



- 学 長：松岡 尚敏
- 所 在 地：〒980-0845
宮城県仙台市青葉区
荒巻字青葉149番地
- 教職員数：173名
- 学 生 数：1,586名

教育の未来と子どもたちの未来のために

宮城教育大学は、昭和40年に東北地区唯一の教員養成単科大学として創設されて以来、教員養成に効果的な課程編成や、大学院の設置等、よりよい教育を目指して数々の改革を実践してきました。また、本学は附属幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校を有し、各校園において教育に関わる研究課題に取り組み、児童等の教育はもとより、教育実習生の受け入れも行うなど、全キャンパスが教育で活気づいています。教育への熱い思いを持ったこの宮城教育大学で、教育と子どもたちの未来のためにあなたの力を発揮しませんか？

採用担当部署／経営企画課人事係
☎ 022-214-3307
✉ muejinji@grp.miyakyo-u.ac.jp
<https://www.miyakyo-u.ac.jp/>



エリア
マップ

弘前大学
秋田大学
山形大学

八戸工業高等専門学校
岩手大学
宮城教育大学
東北大学
福島大学



国立大学法人
秋田大学



- 学 長：南谷 佳弘
- 所 在 地：〒010-8502
秋田県秋田市
手形学園町1番1号
- 教職員数：1,859名
- 学 生 数：学 部/4,326名
大学院/809名

地域社会と世界に開かれた大学で夢の実現を目指す

秋田大学は、国際資源学部、教育文化学部、医学部、理工学部の4学部からなり、約5千人の学生が学ぶ県内唯一の総合大学です。令和7年度には理工学部を総合理工学部へ改組し、新たに情報データ科学部が新設され、新時代を担う人材の育成や研究を通して地域貢献と世界に通じる大学を目指しています。また、高齢化や自殺予防といった秋田県が抱える課題解決のための取組や、地域の魅力を再発信する地方創生にも力を入れています。秋田大学に集う学生及び教職員一人ひとりの夢を実現できる大学を目指して、一緒に力を発揮してみませんか。

採用担当部署／人事課人事担当
☎ 018-889-2215
✉ jinninyo@jimu.akita-u.ac.jp
<https://www.akita-u.ac.jp/honbu/>



国立大学法人
山形大学



- 学 長：玉手 英利
- 所 在 地：〒990-8560
山形県山形市
小白川町1-4-12
- 教職員数：2,365名
- 学 生 数：学 部/7,350名
大学院/1,288名

学生目線の大学創り ～すべては学生の学びと社会のために～

山形大学は、人文社会科学部、地域教育文化学部、理学部、医学部、工学部、農学部の6学部と社会共創デジタル学環(R7新設)、大学院及び各種教育研究支援施設からなる総合大学です。『地域創生』『次世代形成』『多文化共生』を使命として掲げ、学生教育はもちろん、地域に根ざした研究や世界最先端の研究を進め、その成果を社会に還元することに力を入れています。学生目線を大切に、学生とともに成長する大学の実現を目指し教職員一丸となり取り組んでおります。山形大学の発展及び地域貢献のため、ともに働いてみませんか。

採用担当部署／総務部人事労務課人事担当
☎ 023-628-4023
✉ yu-sjinin@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/>



国立大学法人
福島大学



- 学 長：三浦 浩喜
- 所 在 地：〒960-1296
福島県福島市
金谷川1番地
- 教職員数：444名
- 学 生 数：学 部/4,230名
大学院/298名

地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学

福島大学は福島市南部のワンキャンパスに5つの学類全てがまとまって設置されており、多様な学生がともに授業や課外活動で交流できる教育環境です。福島県唯一の国立大学として、長きにわたり地域とともに歩みを進めてきました。自らを「地域と共に21世紀的課題に立ち向かう大学」と定義し、「解のない問いにチャレンジできる人材」を育てることを目的に掲げています。地域と研究者、学生らが語り合い、多様なプロジェクトを生成し、個人及び社会の「Well-being」の実現を目指す、そんな福島大学の未来と一緒に切り拓きませんか。

採用担当部署／人事課任用係
☎ 024-548-8007
✉ saiyo@adb.fukushima-u.ac.jp
<https://www.fukushima-u.ac.jp/>



独立行政法人国立高等専門学校機構
八戸工業高等専門学校



- 校 長：土屋 範芳
- 所 在 地：〒039-1192
青森県八戸市大字
田面木上野平16番地1
- 教職員数：95名
- 学 生 数：855名

活力ある学びの場、あなたの力を生かす場所

八戸高専は、国立51高専のトップをきって4学期制を導入し、自主探究学習等による学生の課題発見能力を育成する教育に取り組んでいます。『国際的エンジニア育成特別選抜』として新たに推薦選抜枠を拡充し、学生が15歳から国際感覚やコミュニケーション能力を身につけられるようシェアハウス型国際混住寮を運営するなど国際社会で活躍できる人材の育成に力を入れています。常に新たな諸改革に取り組み、ステップアップしている八戸高専では、若い感性と柔軟な発想、そして積極的な行動力を発揮してくれる方をお待ちしています。

採用担当部署／総務課職員係
☎ 0178-27-7224
✉ jinji-o@hachinohe-ct.ac.jp
<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>



業務内容

先職員の声
(事務系)

先職員の声
(技術系)

マイキャリア
(事務系)

マイキャリア
(技術系)

研修制度について

ワーク・ライフ・
バランス

勤務条件
福利厚生

若手職員
アンケート

特集
機関紹介

採用試験
組織概要

機関紹介

EMPLOYMENT INFORMATION



独立行政法人国立高等専門学校機構 一関工業高等専門学校



■校 長：小林 淳哉
■所 在 地：〒021-8511
岩手県一関市
萩荘字高梨
■教職員数：92名
■学 生 数：826名

感性豊かな実践的・創造的技術者の育成

一関高専は、仙台市と盛岡市の中間地点にあり、岩手県南・宮城県北にある工学系高等教育機関として地域に求められる技術者を養成しています。平成29年度に近年の産業構造の変化に対応するため、これまでの4学科を新設の「未来創造工学科」に改組しました。これにより、グローバル化に対応した研究開発・試作提案等の業種に携わる人材や、新たな科学技術の創出及び関連する産業の創出につながる人材の育成を目指します。一関高専は、あなたの能力を求めています！ここの一関で、私たちと一緒に新しい高専を作っていきましょう。

採用担当部署／総務課人事給与係
☎ 0191-24-4705
✉ s-jinji@ichinoseki.ac.jp
<https://www.ichinoseki.ac.jp/>



独立行政法人国立高等専門学校機構 秋田工業高等専門学校



■校 長：高橋 雅之
■所 在 地：〒011-8511
秋田県秋田市飯島文京町
1番1号
■教職員数：96名
■学 生 数：本科／784名
専攻科／28名

創造性豊かな実践的技術者の育成

秋田高専は、1学科4系8コース制の創造システム工学科と専攻科を有し、高度な専門知識と柔軟な問題解決能力を備えた創造性豊かな技術者の育成を目指しています。事務系・技術系職員は40名おり、総務課・学生課及び技術教育支援センターの各課等に所属し、学校の管理運営、教育研究支援業務に従事しています。中学校卒業後の5年間一貫の教育現場は、職員との距離が近く、良い刺激を受けながら学生と共に自分自身も大きく成長させることができます。未来を担う人材育成の一助となるべく、私たちと一緒に働いてみませんか。

採用担当部署／総務課人事係
☎ 018-847-6006
✉ jinji-dv@akita-nct.ac.jp
<https://www.akita-nct.ac.jp/>



独立行政法人国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校



■校 長：橋爪 秀利
■所 在 地：〒989-3128
宮城県仙台市青葉区
愛子中央4丁目16-1
■教職員数：186名
■学 生 数：1,559名

国際的に通用する人間性豊かな人材の育成

仙台高専は、平成21年に仙台電波高専と宮城高専が統合し発足した、国内最大規模の高専です。アクティブラーニングの推進など教育改革に努めるほか、国際的に通用する技術者の育成のため、海外への長期インターンシップや学術交流協定校と学生の相互交流にも力を入れています。また、即戦力となる人材の早期輩出を目指し、令和7年度から新たに「情報と創造コース」を新設しました。地域に根ざしながら国際的に活躍できる若い技術者養成のために、あなたの創造性豊かな知恵・柔軟な行動力・無限の可能性を発揮してみませんか。

採用担当部署／総務課人事・労務係
☎ 022-391-5510
✉ jinjiroumu@sendai-nct.ac.jp
<https://www.sendai-nct.ac.jp/>



独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校



■校 長：穴戸 道明※
■所 在 地：〒997-8511
山形県鶴岡市井岡字
沢田104
■教職員数：102名
■学 生 数：825名
※校長事務代理

人と地球と環境に優しい技術者を育みます

本校は、機械・電気・電子・情報・化学・生物の4つの基礎コースとそれらを横断する形でR7年4月から新設されたデジタルデザインコースからなる創造工学科と専攻科を有し、庄内地域唯一の工業系高等教育機関として、豊かな人間性を備え、創造性に富んだ技術者の養成を目指しています。また、本校は高専機構の研究拠点「K-ARC」を設置し、企業や他機関との共同プロジェクトの推進、地域発のグローバルエンジニアの育成にも積極的に取り組んでいます。常に進化し続ける本校で、私達と一緒に切磋琢磨し、あなた自身の成長に繋げてみませんか。

採用担当部署／総務課人事係
☎ 0235-25-9015
✉ jinji@tsuruoka-nct.ac.jp
<https://www.tsuruoka-nct.ac.jp/>



エリア
マップ

- 秋田工業高等専門学校
- 鶴岡工業高等専門学校
- 国立磐梯青少年交流の家
- 国立那須甲子青少年自然の家
- 国立岩手山青少年交流の家
- 一関工業高等専門学校
- 国立花山青少年自然の家
- 仙台高等専門学校
- 福島工業高等専門学校

グローバルに活躍する次世代技術者を育成する

本校は、いわき市の中央部に位置し、温暖で過ごしやすい環境の中で教育・研究活動を行っています。本科5学科と専攻科を有しており、全国高専の中でも数少ないビジネス系学科を持つことが特徴です。また地域への貢献を果たすため産学連携活動を通して東日本大震災からの復興や地域課題の解決に積極的に取り組んでいます。これからも社会の発展を支える創造性豊かな次世代技術者の育成に取り組む本校で、ともに様々な課題に挑戦できる意欲のある皆さんを待っています。



独立行政法人国立高等専門学校機構 福島工業高等専門学校



■校 長：岡本 任弘
■所 在 地：〒970-8034
福島県いわき市
平上荒川字長尾30
■教職員数：115名
■学 生 数：1,044名

採用担当部署／総務課人事係
☎ 0246-46-0707 ✉ jinji@fukushima-nct.ac.jp

<https://www.fukushima-nct.ac.jp/>



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立岩手山青少年交流の家



■所 長：藤井 玄
■所 在 地：〒020-0601
岩手県滝沢市後292
■教職員数：13名

当施設は開所50年以上の歴史があり、地域からテンパークの愛称で親しまれています。自然体験等による青少年の健全な心身の育成を目的として、様々な教育事業を展開する他、豊かな自然に囲まれた集団宿泊施設という特徴を活かし、企業の研修等にも利用されています。青少年教育に関心のある方の応募をお待ちしています。

連絡先／総務係 ☎ 019-688-4224
<https://iwate.niye.go.jp/>



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家



■所 長：佐藤 素子
■所 在 地：〒969-3103
福島県耶麻郡猪苗代町
字五輪原7136-1
■教職員数：11名

名峰磐梯山の南面に位置し、本館・キャンプ場・野外炊飯場・グラウンドや体育館などが備わった施設です。猪苗代湖や裏磐梯などの自然の中で五色沼のハイキングや磐梯山登山、ウィンタースポーツ、会津の歴史や文化学習など多様な体験を提供しています。雄大な自然の中で、地域一体で青少年を支える施設運営を行っています。

連絡先／総務係 ☎ 0242-62-2773
<https://bandai.niye.go.jp/>



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立花山青少年自然の家



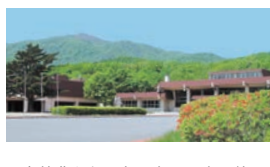
■所 長：藤井 玄
■所 在 地：〒987-2593
宮城県栗原市花山字
本沢沼61-1
■教職員数：11名

国立花山青少年自然の家は、宮城・秋田・岩手・山形にまたがる栗駒国定公園の主峰「栗駒山」南麓で体験活動を展開し、沢を遡上しつつ深みに飛び込んだり滝を登ったりする「沢のぼり」をはじめとするプログラムを行っています。青少年の育成というやりがいがある仕事に従事し、自己実現を図ってみませんか！

連絡先／総務係 ☎ 0228-56-2311
<https://hanayama.niye.go.jp/>



独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立那須甲子青少年自然の家



■所 長：佐藤 素子
■所 在 地：〒961-8071
福島県西白河郡西郷村
大字真船字村火6-1
■教職員数：13名

自然豊かな日光国立公園内の約130万㎡の広大な敷地に、本館・キャンプ場・野外炊飯場などが点在しています。また、本館から15kmの那須高原にはロッジを併設しています。阿武隈川源流での環境学習、森林をめぐるハイキング、パウダースノーを楽しむスノーシューなど、那須甲子地域の四季を感じる自然体験を提供しています。壮大な自然の中で子どもたちに寄り添い、地域に根ざした施設運営を展開しています。

連絡先／総務係 ☎ 0248-36-2331
<https://nasukashi.niye.go.jp/>



業務内容

先達職員の声
(事務系)

先達職員の声
(技術系)

マイキャリア
(事務系)

マイキャリア
(技術系)

研修制度について

ワーク・ライフ・
バランス

勤務案件 福利厚生

若手職員
アンケート

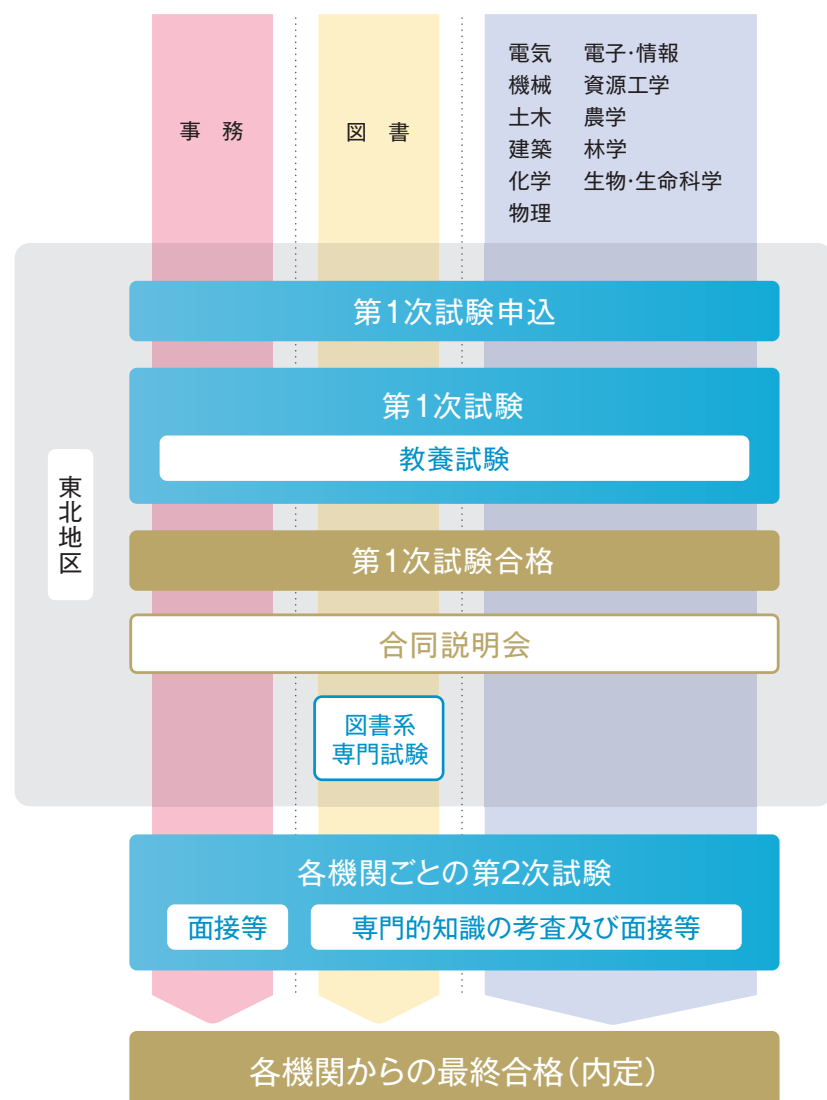
特集機関紹介

採用試験
組織概要

第1次試験である「国立大学法人等職員統一採用試験」を全国7つの地区(北海道、東北、関東甲信越、東海・北陸、近畿、中国・四国、九州)で実施し、第2次試験は各機関で行います。

東北地区の国立大学法人等への採用を希望する場合、採用希望地区として「東北地区」を選択の上、第1次試験に合格し、採用を希望する国立大学法人等が実施する第2次試験を受験していただく流れになります。

採用までの流れ (試験区分別)



※第2次試験からは各機関ごとの試験を受けます。併願も可能です。最終合格は各機関から出されます。

採用試験に関する Q & A

採用試験全般に関すること

- Q** 東北地区での採用を希望していますが、東北地区以外で受験することはできますか？
- A** 第1次試験については、ご自身が希望する地区を選択することができます。必ずしも採用を希望する地区で第1次試験を受験する必要はありません。第2次試験は、申込時に選択した採用希望地区の機関を受験することになります。第1次試験受験地区と採用希望地区の選択を誤らないようご注意ください。

- Q** 大学を卒業していなければ受験できませんか？
- A** 大学を卒業していなくても受験できます。試験問題のレベルは大学卒程度ですが、学歴や資格の有無は一切問いません。
- Q** 既卒者ですが、受験にあたって不利になりませんか？
- A** 第2次試験において、総合的に採否を決定します。そのため、既卒者だからといって不利となることはありません。

第1次試験に関すること

- Q** 受験申込の方法を教えてください。
- A** 申込方法はインターネット受付のみとなります。郵送や持参による申し込みは一切受け付けませんので、ご注意ください。
- Q** 過去の試験問題は公表していますか？
- A** 公表していません。ただし、第1次試験の例題はホームページ上で公表していますので、参考にしてください。

- Q** 障がいを持っていますが、受験する際に特別な措置を受けることはできますか？
- A** 個々の障がいや怪我の程度に応じ、可能な範囲で配慮を行っています。具体的な措置としては、補聴器の使用、車椅子の使用、拡大文字による試験や座席の配慮等の措置があります。

第2次試験に関すること

- Q** 各機関で実施する第2次試験は、1つの機関しか受けられないのですか？
- A** 日程が重ならない限り、複数の機関を受験できます。ただし、採用内定に応じられるのは1機関のみです。

- Q** 第2次試験結果に対する「応諾」とは何ですか？
- A** 第2次試験を受験した機関から、内定の連絡を受けて、当該機関への入職を承諾することです。第2次試験は、複数の機関を受験可能ですが、応諾できる機関は1つのみです。応諾するにあたっては、辞退することのないよう慎重に判断してください。

組織概要

OUTLINE OF ORGANIZATION

Tohoku Shine

国立大学法人等とは

国立大学法人等は国立大学法人、独立行政法人国立高等専門学校機構、独立行政法人国立青少年教育振興機構等から構成され、東北地区には17の機関があります。

国立大学法人等では教育、研究、地域貢献、国際貢献等を通じて、社会の発展に寄与するという公的な役割を担い、各機関はそれぞれの個性と特色を活かし、社会的使命を果たすための取り組みを行っています。

機関概要

国立大学法人

7機関

国立大学は教育・研究・社会貢献を役割とする高い公共性と社会への強い影響力を有する機関であり、学問分野・国境・世代を越えてあらゆる「知」が集結しています。「知」のプラットフォームとも言える国立大学には、Society5.0を主導し、SDGsの達成を世界に先駆けて実現していくことが期待されています。また、知識集約型社会への転換において、国立大学が社会変革の原動力となることも求められています。

くわえて、各国立大学は、自主的な発想によりそれぞれの特色に応じた積極的な大学経営に取り組んでいます。

独立行政法人国立高等専門学校機構

6機関

国立高等専門学校は、理工系に秀でた中学卒業後へ5年間の一貫した専門教育を行い、高専卒業生を対象とした2年間の専攻科も設置することで、産業界の技術革新と構造変化に即応した実践的かつ優秀な「エンジニア」を育成することを目的としています。

また、国際交流の推進に伴い積極的に留学生を受け入れ、地域企業との交流・連携により各地域社会の発展へ貢献するなど、着実にその存在をアピールしています。

独立行政法人国立青少年教育振興機構

4機関

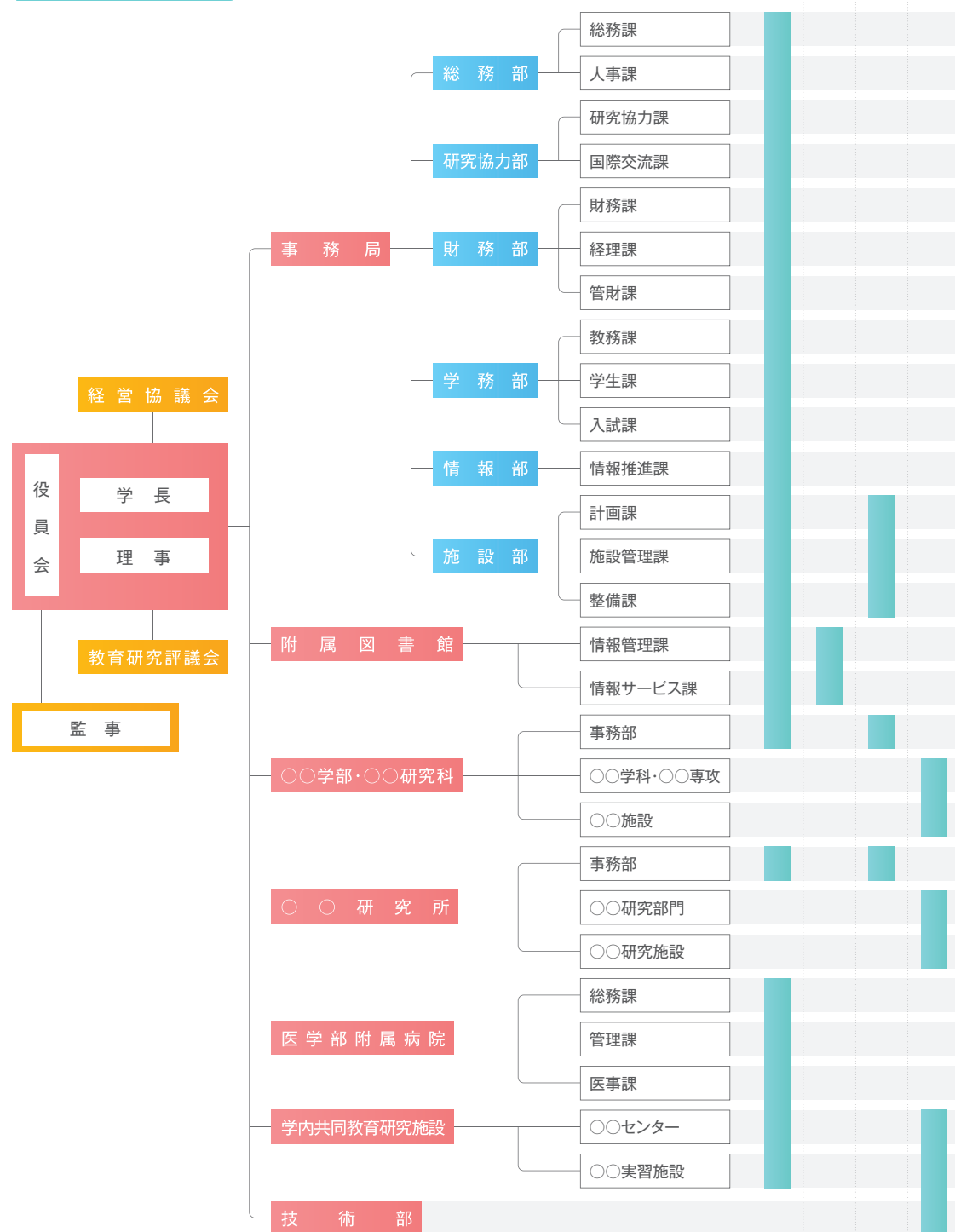
国立青少年教育振興機構は、青少年や青少年教育関係者に対し、教育的な観点から総合的・体系的な一貫性のある体験活動や研修の機会を提供するとともに、青少年教育に関する調査研究等も行い、青少年教育の振興および青少年の健全育成を図ることを目的としています。

東北地区の4施設についても、青少年教育の振興のための「教育拠点」として、豊かな自然環境と地域や郷土の特色を活かした研修プログラムを実施しています。 ※国立大学法人等職員統一採用試験から直接の採用は行っていません。

組織のイメージ図

国立大学法人等職員に採用となった場合に配属される組織について、国立大学を例に照会します。事務局の各部および各部局事務には複数の課または係が、各課には複数の係が置かれています。

組織の規模によって組織の形は変わるため、詳細は各機関のHP等で確認してください。



業務内容

先立職員の声
(事務系)

先輩職員の声
(技術系)

マイキャリア
(事務系)

マイキャリア
(技術系)

研修制度について

ワーク・ライフ・
バランス

勤務案件・福利厚生

若手職員
アンケート

特集
機関紹介

採用試験
組織概要